

一等水準点検測成果集録

第 68 卷

2023年度観測
(令和5年度観測)

令和8年3月

国土交通省国土地理院

記

本集録は、令和5年度に、国土地理院が行った一等水準点検測の結果を集録、図示したものである。

令和8年3月

国土交通省国土地理院

一等水準点検測成果集録

第 6 8 卷

2023年度観測
(令和5年度観測)

目 次

1. 観測器械及び観測法

(1) 観測器械

(2) 観 測 法

2. 観測区域及び期間

3. 水準点変動図の説明

付図 一等水準路線図

一等水準点変動図

1. 観測器械および観測法

令和5年度において使用した観測器械および観測法は次のとおりである。

(1) 観測器械

A レベル

| レベル名称 | 望遠鏡 倍率 | 水準器感度等 |
|--------------------------------|-----------|------------------|
| CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| ツアイス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |

B 水準標尺

| 水準標尺名称 | 長さ | 目盛部の状況 | |
|------------------------------------|----|---------------------------------|--|
| | | 材質 | 目盛法 |
| Wild 製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾 2.6cm,長さ 3m) | インバール帯の中央線の両側に 5mm の差をもって 10mm ごとに目盛る。 |
| Carl Zeiss Jena 製 インバール (バーコード) 標尺 | 3m | インバール (巾 2.2cm,長さ 3m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |
| タマ製 精密バーコード水準標尺 | 3m | ニュースーパーインバール (巾 2.2cm,長さ 3m) | 〃 |
| トリングル ナビゲーション製 精密バーコード水準標尺 | 2m | インバール (巾 2.2cm,長さ 2m) | 〃 |

(2) 観測法

観測に際しては、地上によく踏みこんだ鉄製標尺台に、標尺を尺付属の円形水準器によって鉛直に立て、レベルは、両標尺間の中央に整置し、後視—前視、更に前視—後視の順序に観測を行う。

整準ねじによって、まず円形水準器の気泡を中央に導き、第 1 回視準（後視—前視）は左側目盛分画線、第 2 回視準（前視—後視）は右側目盛分画線を視準する。

Carl Zeiss Jena 製 NI002A 型は、第 1 回視準はコンペンセーターが I の位置、第 2 回視準はコンペンセーターが II の位置において、測微装置によってくさび型十字糸で分画線を正しく挟んで 10 分の 1mm まで読みとる。

ツァイス製 DiNi12 型及び Trimble 製 DiNi0.3 型電子レベルの場合は、中央視準線がバーコード目盛の中心線と一致するように望遠鏡の向きを微調整した状態で読定ボタンを押す。

レベルと標尺の距離は、平地で通常 40m 以内とし、各水準点間 2km（地点標に併設された水準点間は 1km）の往復観測を行い、その往復差は、 $2.5\sqrt{S}$ mm（S は片道の観測距離で km 単位）以内である。

なお、標尺の検定は、定期的にレーザー干渉計または基準尺により比較測定して行き、観測値に所要の補正をする。

附表

令和4年度以前において使用した観測器械及び観測法

(1) 観測器械

A レベル

| 観測年度 | レベル名称 | 望遠鏡倍率 | 水準器感度 |
|---------------|-------------------------------|-------|------------------|
| 大正13年(1924)以前 | CarlBamberg製 一等レベル (Y型) | 36倍 | 4"~5"/2mm |
| 昭和27年(1952)以前 | CarlZeiss製 III型 精密レベル | 36倍 | 4"~12"/2mm (合致式) |
| 昭和30年(1955)以前 | CarlZeiss製 III型 精密レベル | 36倍 | 4"~12"/2mm (合致式) |
| | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| 昭和42年(1967)以前 | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| 昭和44年(1969)以前 | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | Zeiss製 NI2型 精密自動レベル | 32倍 | 円形水準器 8' |
| 昭和53年(1978)以前 | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| 平成5年(1993)以前 | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| 平成7年(1995)以前 | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | Leica製Wild NA3003型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| 平成8年(1996) | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | ペンタックス製 L-10型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | Leica製Wild NA3003型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| 平成9年(1997) | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度0.05mm |
| | Leica製Wild NA3003型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |

| 観測年度 | レベル名称 | 望遠鏡倍率 | 水準器感度 |
|---------------|--------------------------------|-------|------------------|
| 平成11年(1999)以前 | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | Leica製Wild NA3003型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | カール・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ソキア製 PL1型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | トプコン製 TS-E1型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| 平成12年(2000) | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | カール・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ツァイス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| 平成16年(2004)以前 | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | Leica製Wild NA3003型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | カール・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ツァイス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| 平成18年(2006)以前 | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | Leica製Wild NA3003型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | カール・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ツァイス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ソキア製 PL1型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |

| 観測年度 | レベル名称 | 望遠鏡倍率 | 水準器感度 |
|---------------|--------------------------------|-------|------------------|
| 平成19年(2007) | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | Leica製Wild NA3003型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | Leica製Wild NA3003A型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | カール・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ツァイス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| 平成21年(2009)以前 | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | Leica製Wild NA3003型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | Leica製Wild NA3003A型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | CarlZeissJena製 NI002型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | カール・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ツァイス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| 平成23年(2011)以前 | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | カール・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ツァイス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |

| 観測年度 | レベル名称 | 望遠鏡倍率 | 水準器感度 |
|---------------|--------------------------------|-------|------------------|
| 平成24年(2012) | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ツァイス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | Leica製 DNA03型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| 平成26年(2014)以前 | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ツァイス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| 平成27年(2015) | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | カル・ツァイス製 DiNi11型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ツァイス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| 平成28年(2016) | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | ツァイス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | Leica製 DNA03型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | Leica製Wild NA3003型 電子レベル | 24倍 | 自動補正装置の公称精度 0.4" |
| | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |

| 観測年度 | レベル名称 | 望遠鏡倍率 | 水準器感度 |
|---------------------|--------------------------------|-------|------------------|
| 平成30年(2018)以前 | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | ツアス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| 平成31・ 令和元年(2019) | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | ツアス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| 令和2年(2020) | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | ソキア・トプコン製 SDL1X型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.3" |
| | Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| 令和3年(2021) | Wild製 N3型 精密レベル | 42倍 | 10"/2mm (合致式) |
| | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | ツアス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| 令和4年(2022) | CarlZeissJena製 NI002A型 精密自動レベル | 40倍 | 公称視準精度 0.05mm |
| | ツアス製 DiNi12型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |
| | Trimble製 DiNi0.3型 電子レベル | 32倍 | 自動補正装置の公称精度 0.2" |

B 水準標尺

| 観測年度 | 水準標尺名称 | 長さ | 目盛部の状況 | |
|---------------|----------------------------|----|-------------------------------|-------------------------------------|
| | | | 材質 | 目盛法 |
| 大正13年(1924)以前 | CarlBamber製 水準標尺 | 3m | 露国産自然乾燥赤楊 | 木部の表面に直接5mmごとに目盛る。 |
| 昭和27年(1952)以前 | CarlZeiss製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に2.5mmの差をもって5mmごとに目盛る。 |
| 昭和30年(1955)以前 | CarlZeiss製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| 昭和42年(1967)以前 | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| 昭和44年(1969)以前 | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | Zeiss製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| 昭和53年(1978)以前 | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| 平成元年(1989)以前 | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | CarlZeissJena製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| 平成3年(1991)以前 | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | CarlZeissJena製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニュースペースインバール (巾2.5cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| 平成7年(1995)以前 | Wild製 精密水準標尺 | 3m | ニュースペースインバール (巾2.5cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | CarlZeissJena製 精密水準標尺 | 3m | ニュースペースインバール (巾2.5cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニュースペースインバール (巾2.5cm,長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | Leica製 Wildインバール(ハーフコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm,長さ3m) | インバール帯にハーフコートを目盛る。 |

| 観測年度 | 水準標尺名称 | 長さ | 目盛部の状況 | |
|-------------------|---------------------------|----|--------------------------------|------------------------------------|
| | | | 材質 | 目盛法 |
| 平成8年(1996) | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | CarlZeissJena製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニュースーパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | Leica製 Wildインバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| 平成11年(1999) 以前 | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニュースーパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | Leica製 Wildインバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| 平成12年(2000) | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニュースーパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| 平成13年(2001) | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニュースーパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | Leica製 Wildインバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |

| 観測年度 | 水準標尺名称 | 長さ | 目盛部の状況 | |
|---------------|---------------------------|----|-------------------------------|------------------------------------|
| | | | 材質 | 目盛法 |
| 平成16年(2004)以前 | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | Zeiss製 精密水準標尺 | 3m | ニューズパーインバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニューズパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | Leica製 Wildインバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| 平成21年(2009)以前 | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニューズパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | Leica製 Wildインバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| 平成23年(2011)以前 | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | Leica製 Wildインバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| | ソキア・トプコン製 精密バーコート水準標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| 平成24年(2012) | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニューズパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | Leica製 Wildインバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバール(バーコート)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |
| | ソキア・トプコン製 精密バーコート水準標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコートを目盛る。 |

| 観測年度 | 水準標尺名称 | 長さ | 目盛部の状況 | |
|-------------|--------------------------|----|-----------------------------|-----------------------------------|
| | | | 材質 | 目盛法 |
| 平成25年(2013) | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバー (巾2.6cm, 長さ3m) | インバー帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニューズパインバー (巾2.5cm, 長さ3m) | インバー帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバー(バーコード)標尺 | 3m | インバー (巾2.2cm, 長さ3m) | インバー帯にバーコードを目盛る。 |
| | ソキア・トプコン製 精密バーコード水準標尺 | 3m | インバー (巾2.2cm, 長さ3m) | インバー帯にバーコードを目盛る。 |
| 平成26年(2014) | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバー (巾2.6cm, 長さ3m) | インバー帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニューズパインバー (巾2.5cm, 長さ3m) | インバー帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバー(バーコード)標尺 | 3m | インバー (巾2.2cm, 長さ3m) | インバー帯にバーコードを目盛る。 |
| | ソキア・トプコン製 精密バーコード水準標尺 | 3m | インバー (巾2.2cm, 長さ3m) | インバー帯にバーコードを目盛る。 |
| | タマヤ製 精密バーコード水準標尺 | 3m | ニューズパインバー (巾 - cm, 長さ3m) | インバー帯にバーコードを目盛る。 |
| 平成27年(2015) | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバー (巾2.6cm, 長さ3m) | インバー帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニューズパインバー (巾2.5cm, 長さ3m) | インバー帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバー(バーコード)標尺 | 3m | インバー (巾2.2cm, 長さ3m) | インバー帯にバーコードを目盛る。 |
| | タマヤ製 精密バーコード水準標尺 | 3m | ニューズパインバー (巾2.2cm, 長さ3m) | インバー帯にバーコードを目盛る。 |
| 平成28年(2016) | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバー (巾2.6cm, 長さ3m) | インバー帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニューズパインバー (巾2.5cm, 長さ3m) | インバー帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | Leica製 Wildインバー(バーコード)標尺 | 3m | インバー (巾2.2cm, 長さ3m) | インバー帯にバーコードを目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバー(バーコード)標尺 | 3m | インバー (巾2.2cm, 長さ3m) | インバー帯にバーコードを目盛る。 |
| | タマヤ製 精密バーコード水準標尺 | 3m | ニューズパインバー (巾2.2cm, 長さ3m) | インバー帯にバーコードを目盛る。 |

| 観測年度 | 水準標尺名称 | 長さ | 目盛部の状況 | |
|---------------------------|-----------------------------|----|--------------------------------|------------------------------------|
| | | | 材質 | 目盛法 |
| 平成31・ 令和元年(2019) 以前 | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニューズハーフインバール (巾2.5cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバール(バーコード)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |
| | タマヤ製 精密バーコード水準標尺 | 3m | ニューズハーフインバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |
| 令和2年(2020) | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニューズハーフインバール (巾2.5cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバール(バーコード)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |
| | タマヤ製 精密バーコード水準標尺 | 3m | ニューズハーフインバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |
| | トリプルナビゲーション製 精密バーコード水準標尺 | 2m | インバール (巾2.2cm, 長さ2m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |
| 令和3年(2021) | Wild製 精密水準標尺 | 3m | インバール (巾2.6cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニューズハーフインバール (巾2.5cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバール(バーコード)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |
| | タマヤ製 精密バーコード水準標尺 | 3m | ニューズハーフインバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |
| | トリプルナビゲーション製 精密バーコード水準標尺 | 2m | ニューズハーフインバール (巾2.2cm, 長さ2m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |
| | Trimble製 インバール(バーコード)テープ標尺 | 1m | ニューズハーフインバール (巾2.2cm, 長さ1m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |

| 観測年度 | 水準標尺名称 | 長さ | 目盛部の状況 | |
|------------|--------------------------|----|-------------------------------|------------------------------------|
| | | | 材質 | 目盛法 |
| 令和4年(2022) | ソキア製 精密水準標尺 | 3m | ニューズパーインバール (巾2.5cm, 長さ3m) | インバール帯の中央線の両側に5mmの差をもって10mmごとに目盛る。 |
| | カール・ツァイス製 インバール(バーコード)標尺 | 3m | インバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |
| | タマヤ製 精密バーコード水準標尺 | 3m | ニューズパーインバール (巾2.2cm, 長さ3m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |
| | Trimble 製 精密バーコード水準標尺 | 2m | ニューズパーインバール (巾2.2cm, 長さ2m) | インバール帯にバーコードを目盛る。 |

(2) 観測法

| | | | | |
|---|-------------------------------------|-------------------------------------|---|--|
| <p>観測器械</p> <p>区分</p> | <p>Carl Bamberg</p> | <p>Carl Zeiss</p> | <p>Wild N3</p> | <p>Wild N3 Zeiss NI2 Carl Zeiss Jena NI002,NI002A ペンタックス L-10 Leica NA3003,NA3003A DNA03 カール・ツァイス DiNi11 ツァイス DiNi12 ソキア PL1 トプコン TS-E1 Trimble DiNi0.3 ソキア・トプコン SDL1X</p> |
| <p>視準順序</p> | <p>上方分画— 下方分画</p> | <p>後視—前視 —前視—後 視</p> | <p>後視—前視 —前視—後 視</p> | <p>後視—前視—前視—後視</p> |
| <p>設定単位</p> | <p>0.01mm</p> | <p>0.01mm</p> | <p>昭和35年 以前は 0.1mm</p> | <p>0.1mm</p> |
| <p>標尺距離 (平坦地)</p> | <p>最大 40m</p> | <p>最大 40m</p> | <p>昭和45年 以前は 60m</p> | <p>最大 50m (電子レベルで最大 40m)</p> |
| <p>往復差の許容範囲 S は片道の観測 距離で km 単位</p> | <p>$1.5\sqrt{2S}$ mm</p> | <p>$1.5\sqrt{2S}$ mm</p> | <p>昭和35年 以前は $1.5\sqrt{2S}$ mm 昭和36年 から昭和 39年まで は $2.0\sqrt{2S}$ mm</p> | <p>$2.5\sqrt{S}$ mm</p> |
| <p>環閉合の許容範囲</p> | <p>$1.5\sqrt{S}$ mm</p> | <p>$1.5\sqrt{S}$ mm</p> | <p>$2.0\sqrt{S}$ mm</p> | <p>$2.0\sqrt{S}$ mm</p> |

2. 観測区域及び期間

観測区域及び期間

| 変動図 番号 | 観測区間 | | 不動とした 水準点番号 | 距離 (km) | 観測期間 |
|-----------|-------------------------|--------------------------|----------------|------------|----------------------------|
| | 水準点番号 | 所在地 | | | |
| 23-01-01 | 自 4414 至 4418 | 新潟県新発田市 新潟県新潟市北区 | 4418 | 8.3 | 自 2023年 9月 至 2023年 9月 |
| 23-01-02 | 自 4418 至 4422 | 新潟県新潟市北区 新潟県新潟市中央区 | 4422 | 11 | 自 2023年 9月 至 2023年 9月 |
| 23-01-03 | 自 II 2163 至 II 2027 | 新潟県新潟市秋葉区 新潟県阿賀野市 | II 2163 | 13 | 自 2023年 9月 至 2023年 9月 |
| 23-02-01 | 自 004-061 至 2027 | 茨城県古河市 茨城県古河市 | 2025 | 41 | 自 2023年 9月 至 2023年 9月 |
| 23-02-02 | 自 2025 至 II 592 | 埼玉県加須市 茨城県古河市 | 2025 | 19 | 自 2023年 9月 至 2023年 9月 |
| 23-02-03 | 自 交483 至 交4 | 埼玉県さいたま市北区 東京都千代田区 | 交483 | 35 | 自 2023年 8月 至 2023年 8月 |
| 23-02-04 | 自 交4 至 基25 | 東京都千代田区 神奈川県横浜市保土ヶ谷区 | 交4 | 46 | 自 2023年 8月 至 2023年 9月 |
| 23-02-05 | 自 交35-7 至 油壺験潮場固定点 | 神奈川県横浜市戸塚区 神奈川県三浦市 | 970804A | 65 | 自 2023年 8月 至 2023年 12月 |
| 23-02-06 | 自 基26 至 960759A | 神奈川県三浦市 神奈川県三浦市 | 基26 | 0.24 | 自 2023年 12月 至 2023年 12月 |
| 23-03-01 | 自 9354 至 93043A | 静岡県賀茂郡河津町 静岡県駿東郡清水町 | 9354 | 133 | 自 2023年 6月 至 2023年 7月 |
| 23-03-02 | 自 9364 至 93086A | 静岡県賀茂郡南伊豆町 静岡県賀茂郡南伊豆町 | 93086A | 10 | 自 2023年 6月 至 2023年 6月 |
| 23-03-03 | 自 9878 至 田子験潮場固定点 | 静岡県賀茂郡西伊豆町 静岡県賀茂郡西伊豆町 | 9878 | 0.5 | 自 2023年 6月 至 2023年 7月 |
| 23-03-04 | 自 9400 至 内浦検潮所固定点 | 静岡県沼津市 静岡県沼津市 | 9400 | 0.7 | 自 2023年 7月 至 2023年 7月 |
| 23-03-05 | 自 970819A 至 御前崎検潮所標石 | 静岡県周智郡森町 静岡県御前崎市 | 5268 | 63 | 自 2023年 5月 至 2023年 6月 |
| 23-03-06 | 自 II 2595 至 御前崎検潮所標石 | 静岡県御前崎市 静岡県御前崎市 | II 2595 | 12 | 自 2023年 6月 至 2023年 6月 |

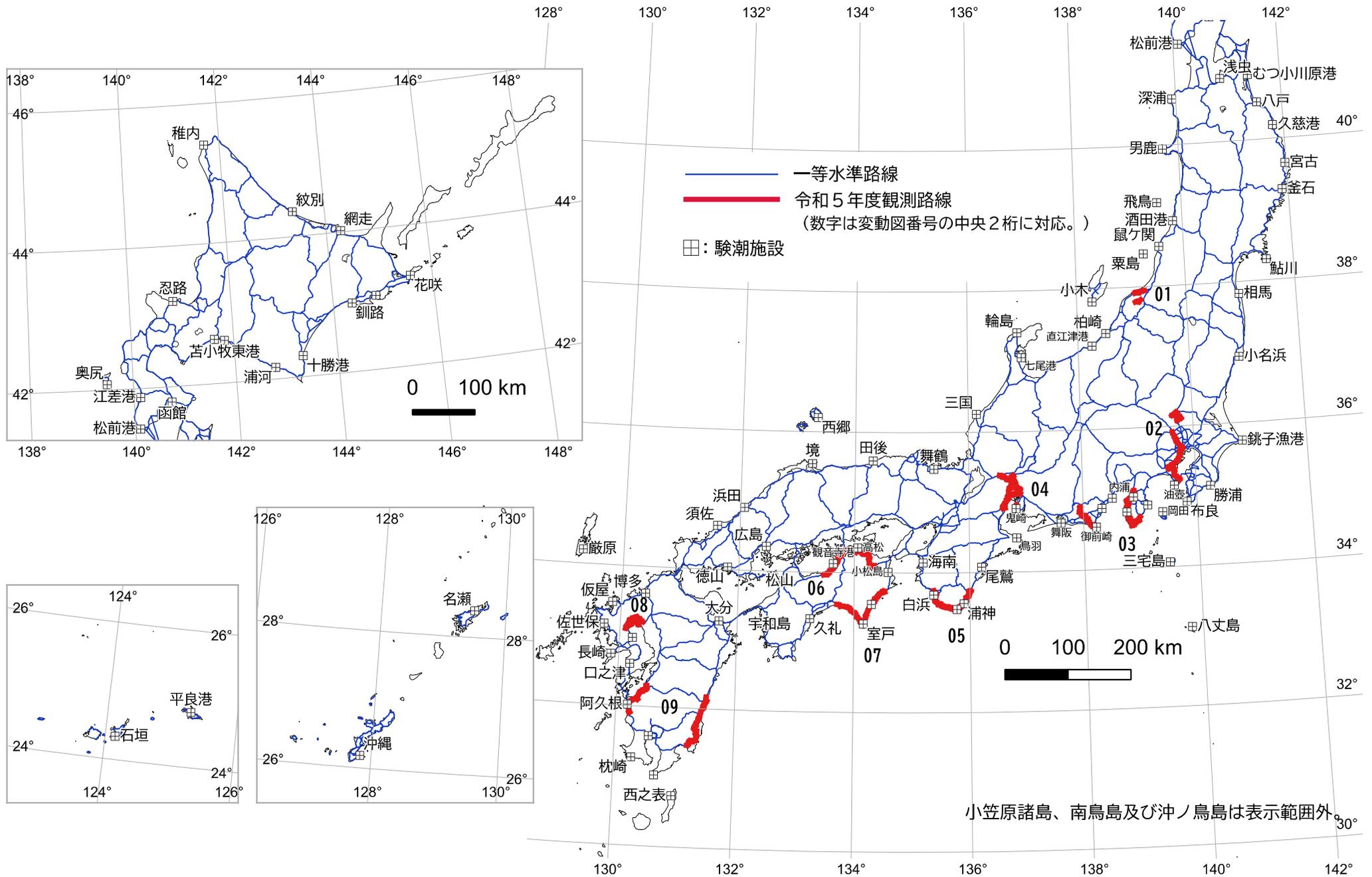
| 変動区 番号 | 観測区間 | | 不動とした 水準点番号 | 距離 (km) | 観測期間 |
|-----------|-------------------------|--------------------------------|----------------|------------|----------------------------|
| | 水準点番号 | 所在地 | | | |
| 23-03-07 | 自 970819A 至 御前崎検潮所標石 | 静岡県周智郡森町 静岡県御前崎市 | 5268 | 63 | 自 2023年 10月 至 2023年 11月 |
| 23-03-08 | 自 II 2595 至 御前崎検潮所標石 | 静岡県御前崎市 静岡県御前崎市 | II 2595 | 12 | 自 2023年 11月 至 2023年 11月 |
| 23-03-09 | 自 93093A 至 II 2602-1 | 静岡県掛川市 静岡県菊川市 | II 2602-1 | 2.5 | 自 2023年 6月 至 2023年 6月 |
| 23-03-10 | 自 93093A 至 II 2602-1 | 静岡県掛川市 静岡県菊川市 | II 2602-1 | 2.5 | 自 2023年 10月 至 2023年 10月 |
| 23-04-01 | 自 191-2 至 III 4675 | 岐阜県不破郡垂井町 岐阜県大垣市 | 191-2 | 9.5 | 自 2023年 10月 至 2023年 10月 |
| 23-04-02 | 自 191 至 950291A | 岐阜県大垣市 岐阜県不破郡垂井町 | 191 | 1.1 | 自 2023年 10月 至 2023年 10月 |
| 23-04-03 | 自 176 至 1471 | 愛知県名古屋市中区 愛知県弥富市 | 176 | 90 | 自 2023年 9月 至 2023年 10月 |
| 23-04-04 | 自 交174-1 至 950309A | 愛知県名古屋市熱田区 三重県四日市市 | 交174-1 | 63 | 自 2023年 10月 至 2023年 10月 |
| 23-04-05 | 自 鬼崎検潮所固定点 至 11065 | 愛知県常滑市 愛知県知多市 | 附18 | 7.0 | 自 2023年 10月 至 2023年 10月 |
| 23-04-06 | 自 附18 至 960632A | 愛知県常滑市 愛知県常滑市 | 附18 | 0.86 | 自 2023年 10月 至 2023年 10月 |
| 23-04-07 | 自 II 3357 至 III 4674 | 岐阜県羽島市 岐阜県大垣市 | III 4674 | 16 | 自 2023年 10月 至 2023年 10月 |
| 23-05-01 | 自 950316A 至 121193A | 三重県南牟婁郡紀宝町 和歌山県田辺市 | 交4810 | 137 | 自 2023年 8月 至 2023年 10月 |
| 23-05-02 | 自 白浜検潮所球分体 至 9186 | 和歌山県東牟婁郡白浜町 和歌山県田辺市 | 9186 | 5.5 | 自 2023年 9月 至 2023年 9月 |
| 23-05-03 | 自 浦神検潮所球分体 至 4980 | 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町 | 4980 | 0.4 | 自 2023年 9月 至 2023年 9月 |
| 23-05-04 | 自 串本検潮所球分体 至 附3 | 和歌山県東牟婁郡串本町 和歌山県東牟婁郡串本町 | 附3 | 0.04 | 自 2023年 9月 至 2023年 9月 |
| 23-06-01 | 自 3410 至 316 | 愛媛県四国中央市 徳島県阿波市 | 3410 | 165 | 自 2023年 6月 至 2023年 7月 |

| 変動図 番 号 | 観 測 区 間 | | 不動とした 水準点番号 | 距離 (km) | 観測期間 |
|------------|------------------------|------------------------|----------------|------------|----------------------------|
| | 水準点番号 | 所 在 地 | | | |
| 23-06-02 | 自 343 至 高松検潮所固定点 | 香川県高松市 香川県高松市 | 343 | 0.78 | 自 2023年 6月 至 2023年 6月 |
| 23-07-01 | 自 031120A 至 950423A | 高知県香南市 徳島県海部郡美波町 | 031120A | 166 | 自 2023年 9月 至 2023年 10月 |
| 23-07-02 | 自 5145 至 940082A | 高知県室戸市 高知県室戸市 | 5145 | 4.7 | 自 2023年 10月 至 2023年 10月 |
| 23-07-03 | 自 5142 至 室戸岬検潮所固定点 | 高知県室戸市 高知県室戸市 | 5142 | 0.29 | 自 2023年 10月 至 2023年 10月 |
| 23-08-01 | 自 3352 至 基52 | 福岡県大川市 佐賀県杵島郡白石町 | 基52 | 49 | 自 2023年 11月 至 2023年 12月 |
| 23-08-02 | 自 3350 至 3332 | 佐賀県佐賀市 佐賀県杵島郡白石町 | 3350 | 46 | 自 2023年 12月 至 2024年 1月 |
| 23-08-03 | 自 3342 至 II 2000 | 佐賀県佐賀市 佐賀県小城市 | 3342 | 3.5 | 自 2023年 12月 至 2023年 12月 |
| 23-08-04 | 自 950455A 至 3332 | 佐賀県鹿島市 佐賀県杵島郡白石町 | 950455A | 6 | 自 2023年 10月 至 2023年 11月 |
| 23-09-01 | 自 950480A 至 950484A | 宮崎県児湯郡川南町 宮崎県串間市 | 950480A | 124 | 自 2023年 6月 至 2023年 7月 |
| 23-09-02 | 自 2403 至 2436 | 熊本県葦北郡芦北町 鹿児島県薩摩川内市 | 2403 | 86 | 自 2023年 9月 至 2023年 10月 |
| 23-09-03 | 自 阿久根験潮場固定点 至 附24 | 鹿児島県阿久根市 鹿児島県阿久根市 | 附24 | 0.01 | 自 2023年 10月 至 2023年 10月 |

3. 水準点変動図の説明

- (1) 変動量は、仮不動点の標高を基準とし、水準点間の今回の観測比高から算出される新水準点標高と前回の観測比高から算出される旧水準点標高の差から求めている。
- (2) 水準点が再設や傾斜改埋等のため比較不能のものについては、点線で示し、それらが図の両端にあるときは空白とした。
- (3) 前回観測から今回観測の間に移転改埋を行った点は白ぬきで表示した。
- (4) 昭和 39 年度から、建設省道路局長（当時）と国土地理院長の覚書により、道路管理者が 1km 毎に設けた距離標に併設した一等水準点（道路水準点）には、国道番号と連番号をハイフンで繋げた「001-181」のような番号を付けている。
- (5) 変動量が特に大きい場合は、図を見やすくするため変動量グラフの縦軸目盛りの間隔を通常の 1cm より変更している。

一等水準路線図

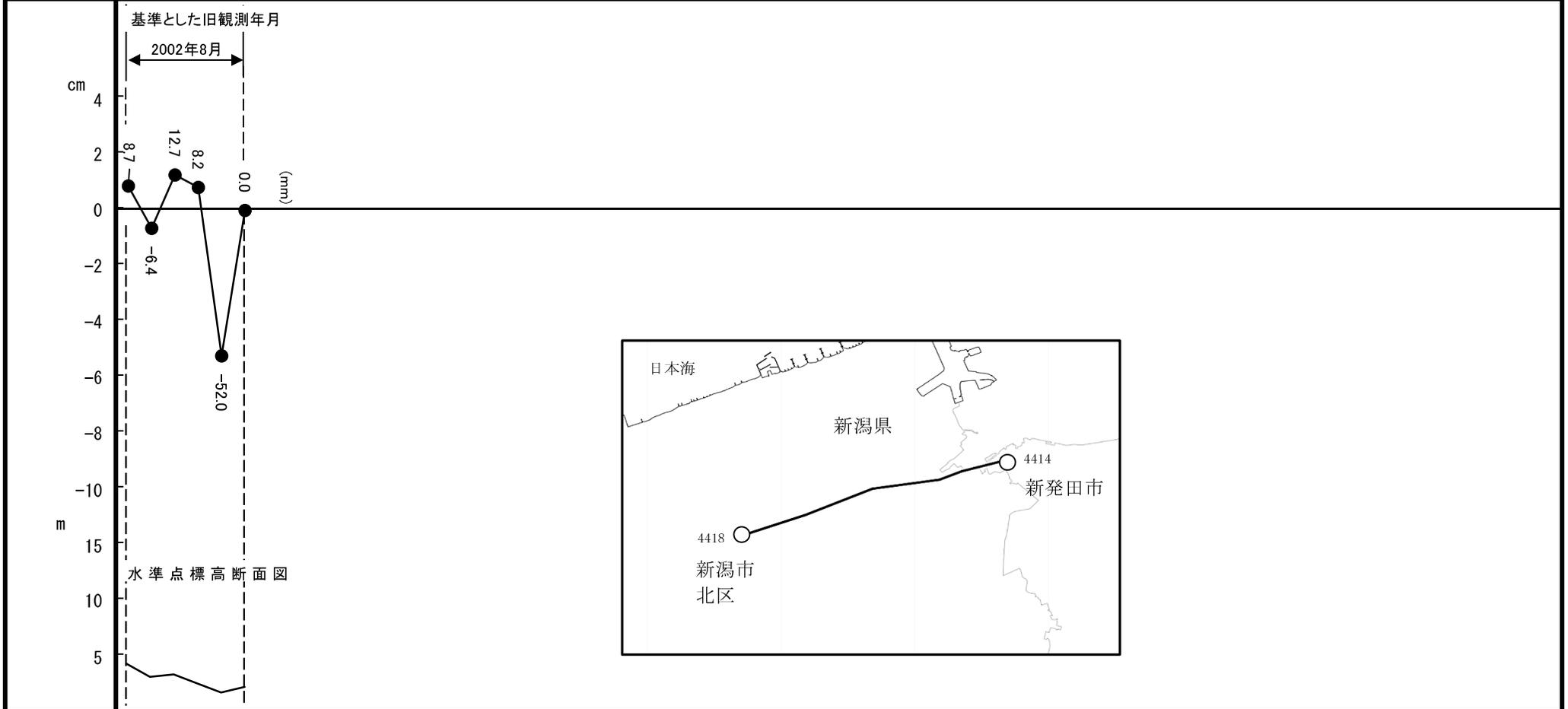


23-01-01 自 新潟県新発田市 至 新潟県新潟市北区

| | |
|-------|---|
| 水準点番号 | 4414 007-017 4415 4416 4417 4418 |
|-------|---|

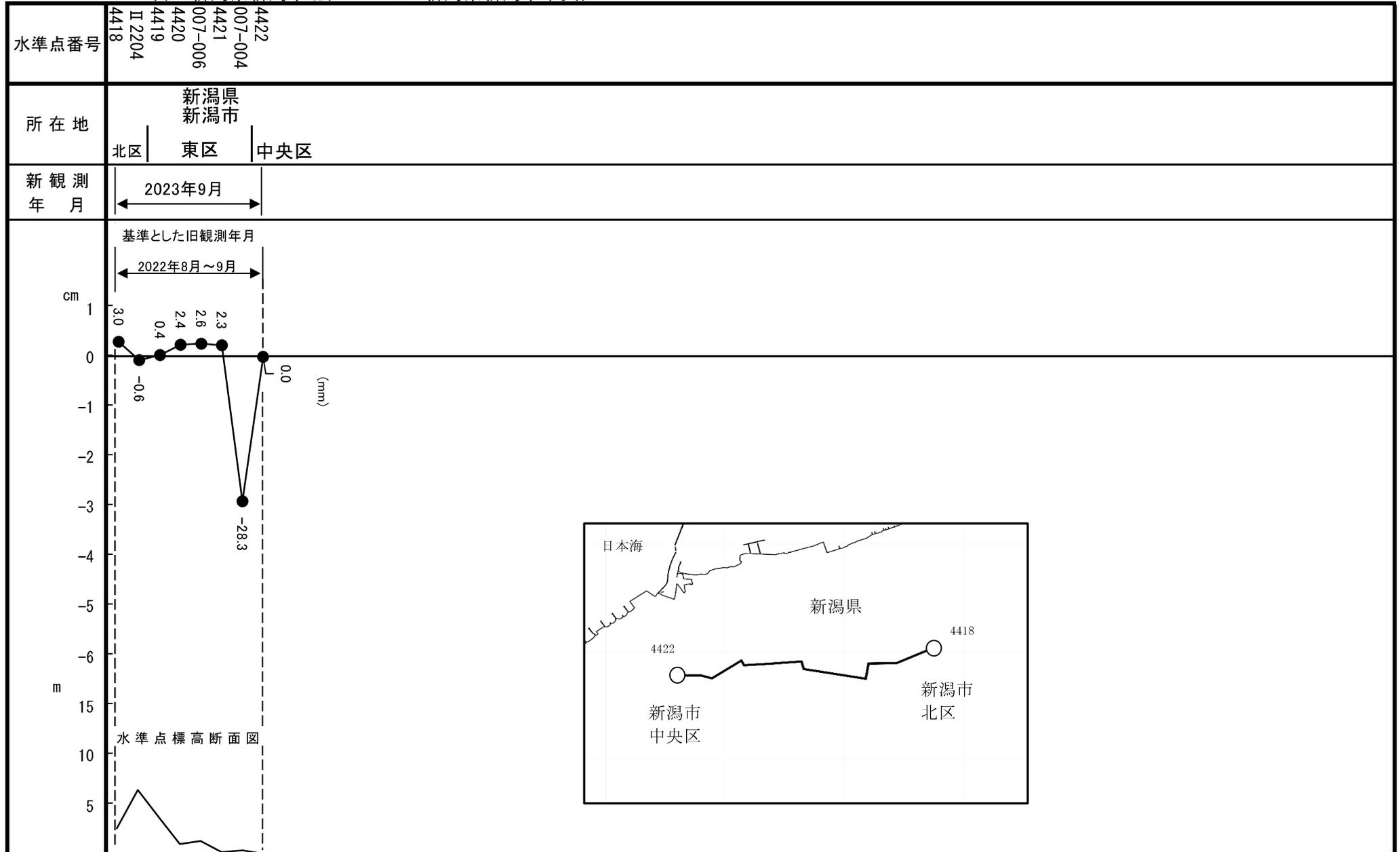
| | |
|-----|--------------------------|
| 所在地 | 新潟県 新発田市 新潟市 北区 |
|-----|--------------------------|

| | |
|-------|---------|
| 新観測年月 | 2023年9月 |
|-------|---------|



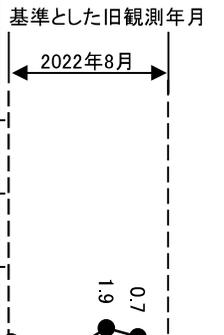
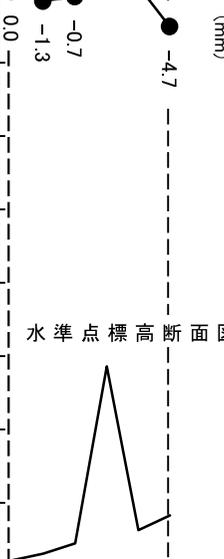
23-01-02

自 新潟県新潟市北区 至 新潟県新潟市中央区



23-01-03

自 新潟県新潟市秋葉区 至 新潟県阿賀野市

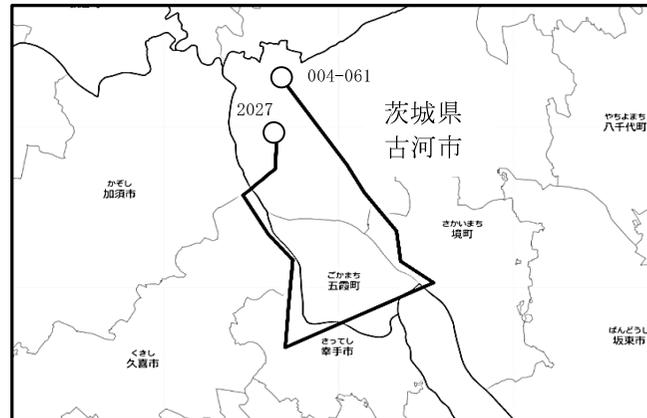
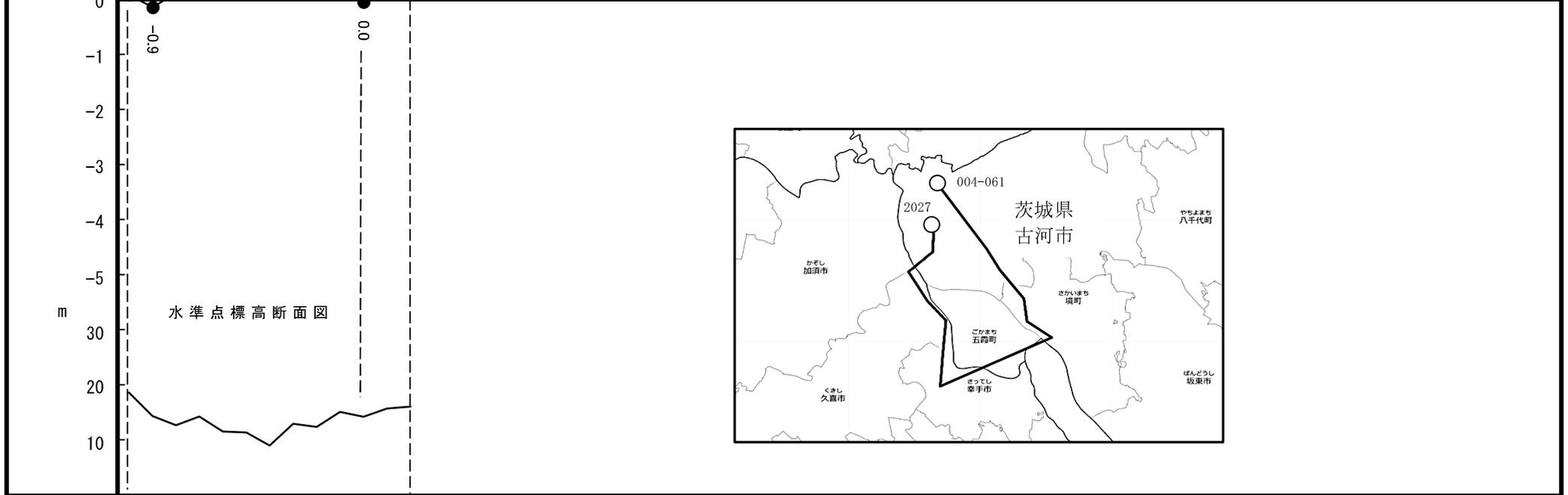
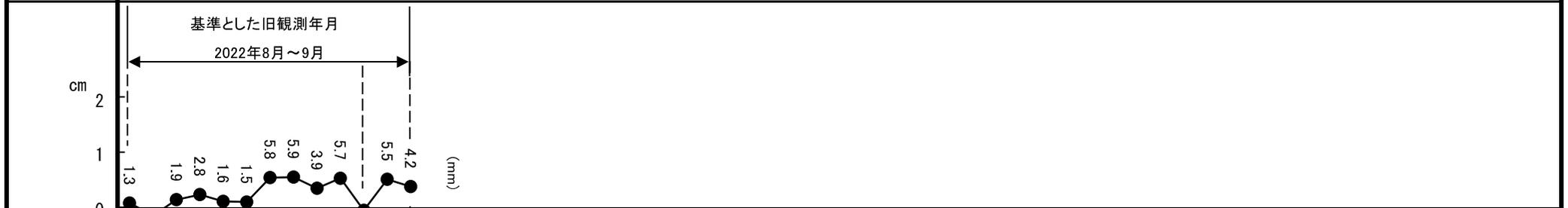
| 水準点番号 | II 2027 II 2026 II 2025 II 2161 II 2162 II 2163 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|---|--------|--------|--------------|-----|-------------|------|-------------|------|-------------|-----|-------------|-----|---------|------|
| 所在地 | 新潟県 新潟市 秋葉区 阿賀野市 | | | | | | | | | | | | | | |
| 新観測年月 | 2023年9月 | | | | | | | | | | | | | | |
| m | <p>基準とした旧観測年月</p> <p>2022年8月</p>  <table border="1"><caption>観測データ (mm)</caption><thead><tr><th>観測時期</th><th>値 (mm)</th></tr></thead><tbody><tr><td>2022年8月 (基準)</td><td>0.0</td></tr><tr><td>2022年8月 (後)</td><td>-1.3</td></tr><tr><td>2022年8月 (後)</td><td>-0.7</td></tr><tr><td>2022年8月 (後)</td><td>1.9</td></tr><tr><td>2022年8月 (後)</td><td>0.7</td></tr><tr><td>2023年9月</td><td>-4.7</td></tr></tbody></table> | 観測時期 | 値 (mm) | 2022年8月 (基準) | 0.0 | 2022年8月 (後) | -1.3 | 2022年8月 (後) | -0.7 | 2022年8月 (後) | 1.9 | 2022年8月 (後) | 0.7 | 2023年9月 | -4.7 |
| | 観測時期 | 値 (mm) | | | | | | | | | | | | | |
| 2022年8月 (基準) | 0.0 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2022年8月 (後) | -1.3 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2022年8月 (後) | -0.7 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2022年8月 (後) | 1.9 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2022年8月 (後) | 0.7 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2023年9月 | -4.7 | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>水準点標高断面図</p>   <p>新潟県</p> <p>新潟市 秋葉区</p> <p>阿賀野市</p> <p>II 2163</p> <p>II 2027</p> | | | | | | | | | | | | | | |

23-02-01 自 茨城県古河市 至 茨城県古河市

| | |
|-------|--|
| 水準点番号 | 004-061 II 2739 II 2738 II 2737 II 2736 II 2735 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 |
|-------|--|

| | |
|-----|---|
| 所在地 | 茨城県 古河市 猿島郡 境町 埼玉県 幸手市 久喜市 加須市 茨城県 古河市 |
|-----|---|

| | |
|-------|---------|
| 新観測年月 | 2023年9月 |
|-------|---------|

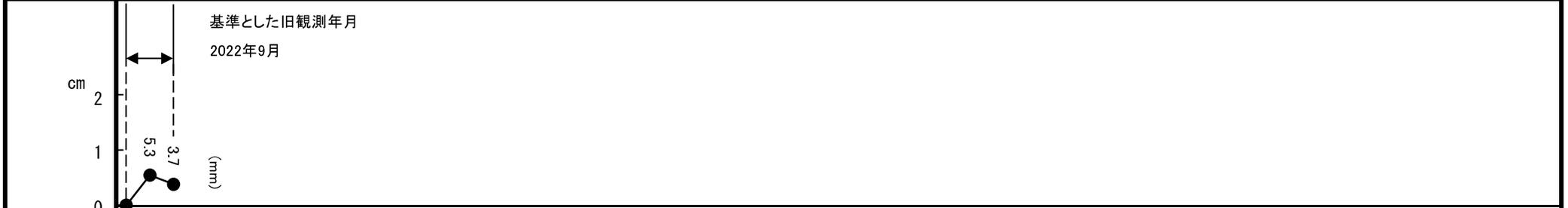


23-02-02 自 埼玉県加須市 至 茨城県古河市

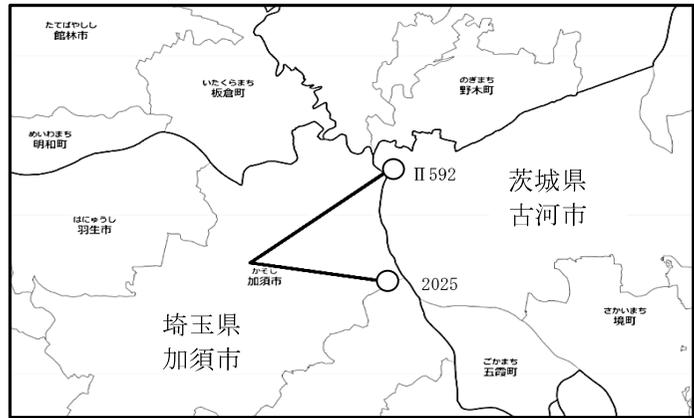
| | |
|-------|---------------------------|
| 水準点番号 | 2025 II 592 II 2540 |
|-------|---------------------------|

| | |
|-----|-----------------|
| 所在地 | 埼玉県加須市 茨城県古河市 |
|-----|-----------------|

| | |
|-------|---------|
| 新観測年月 | 2023年9月 |
|-------|---------|



水準点標高断面図

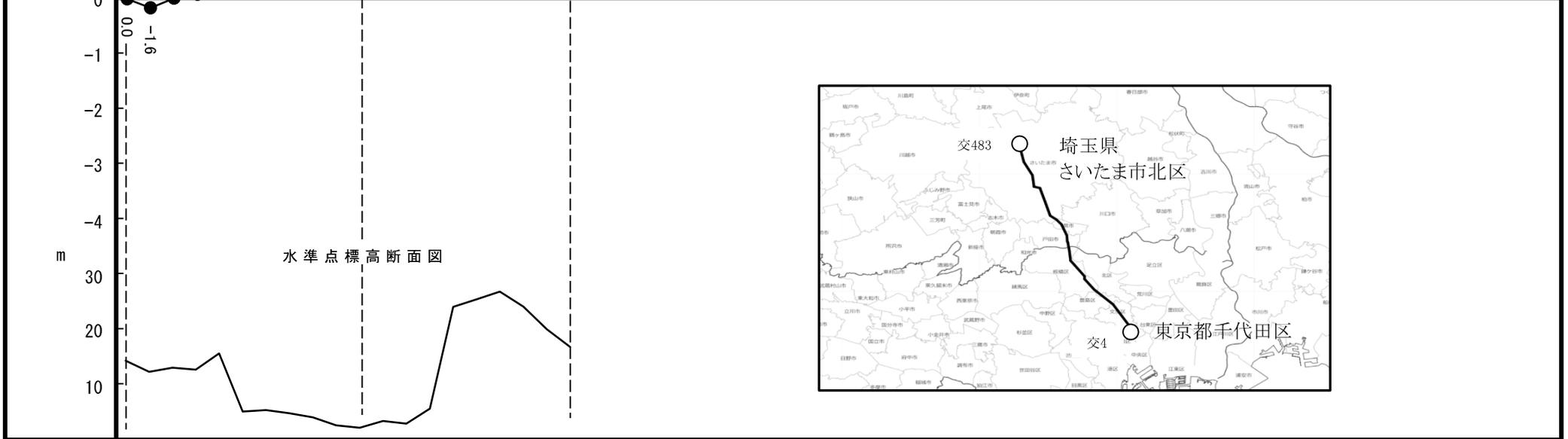
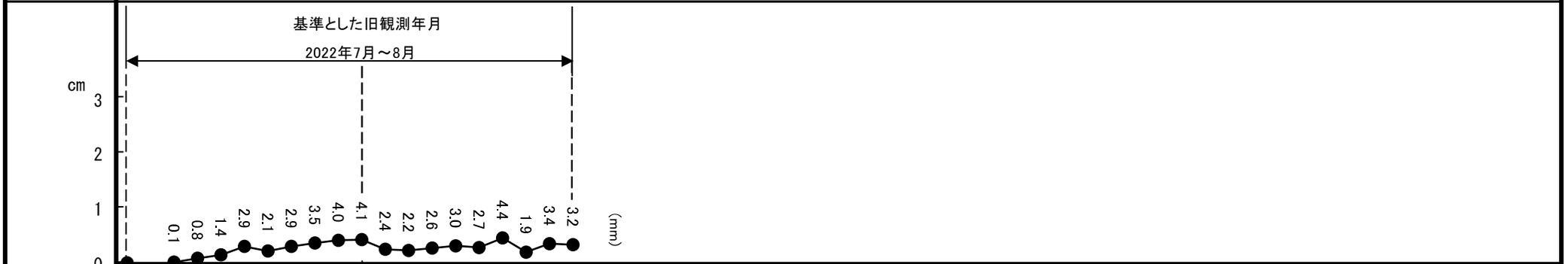


23-02-03 自 埼玉県さいたま市 至 東京都千代田区

| | |
|-------|--|
| 水準点番号 | 交483 482 481 480 交479 478 017-019 477 017-017 交476 017-016 475 017-014 474 473 017-011 017-009 017-006 017-002 交4 |
|-------|--|

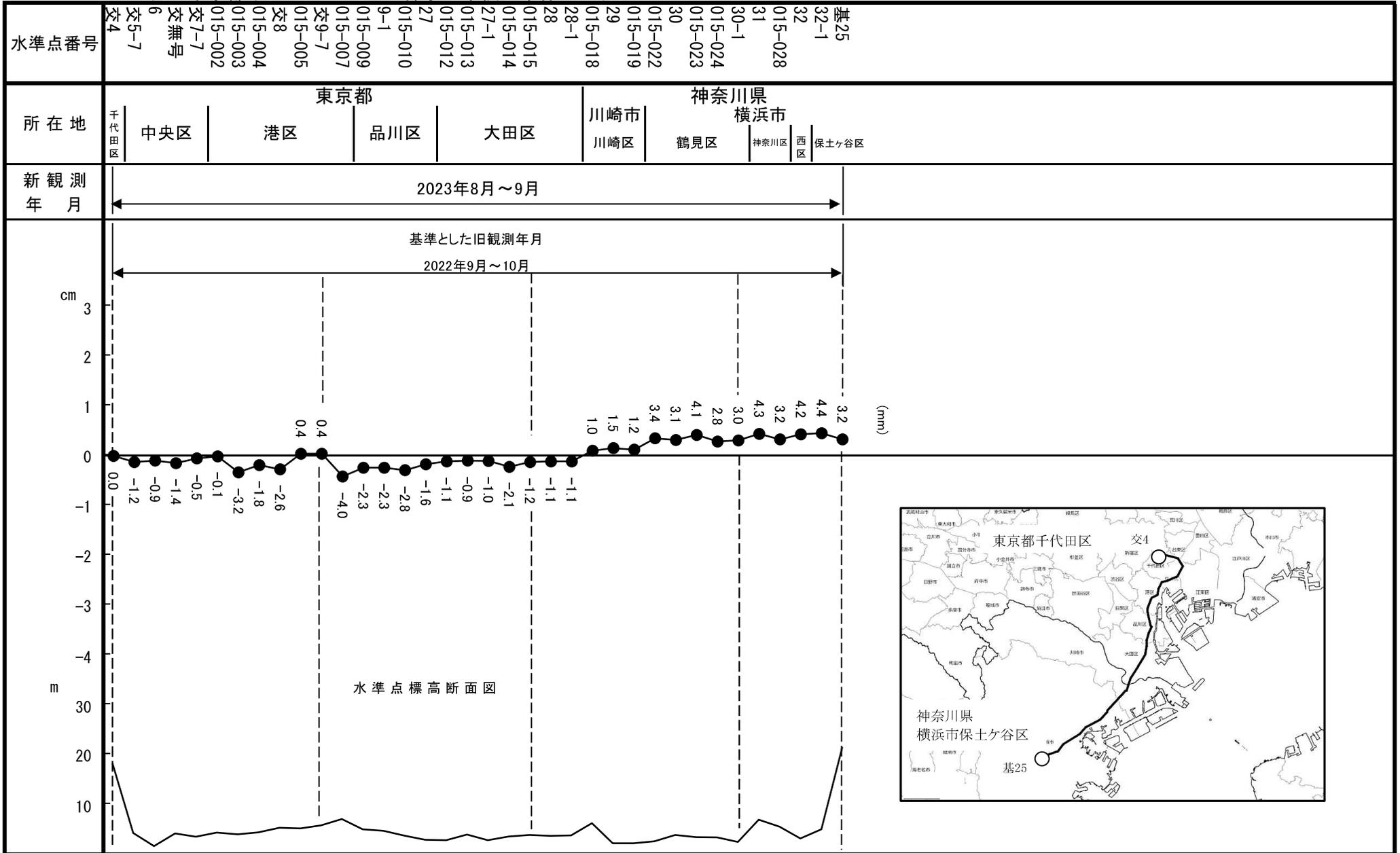
| | | |
|-----|---|----------------------------------|
| 所在地 | 埼玉県 さいたま市 北区 大宮区 浦和区 南区 蕨市 戸田市 | 東京都 板橋区 豊島区 文京区 千代田区 |
|-----|---|----------------------------------|

| | |
|-------|---------|
| 新観測年月 | 2023年8月 |
|-------|---------|



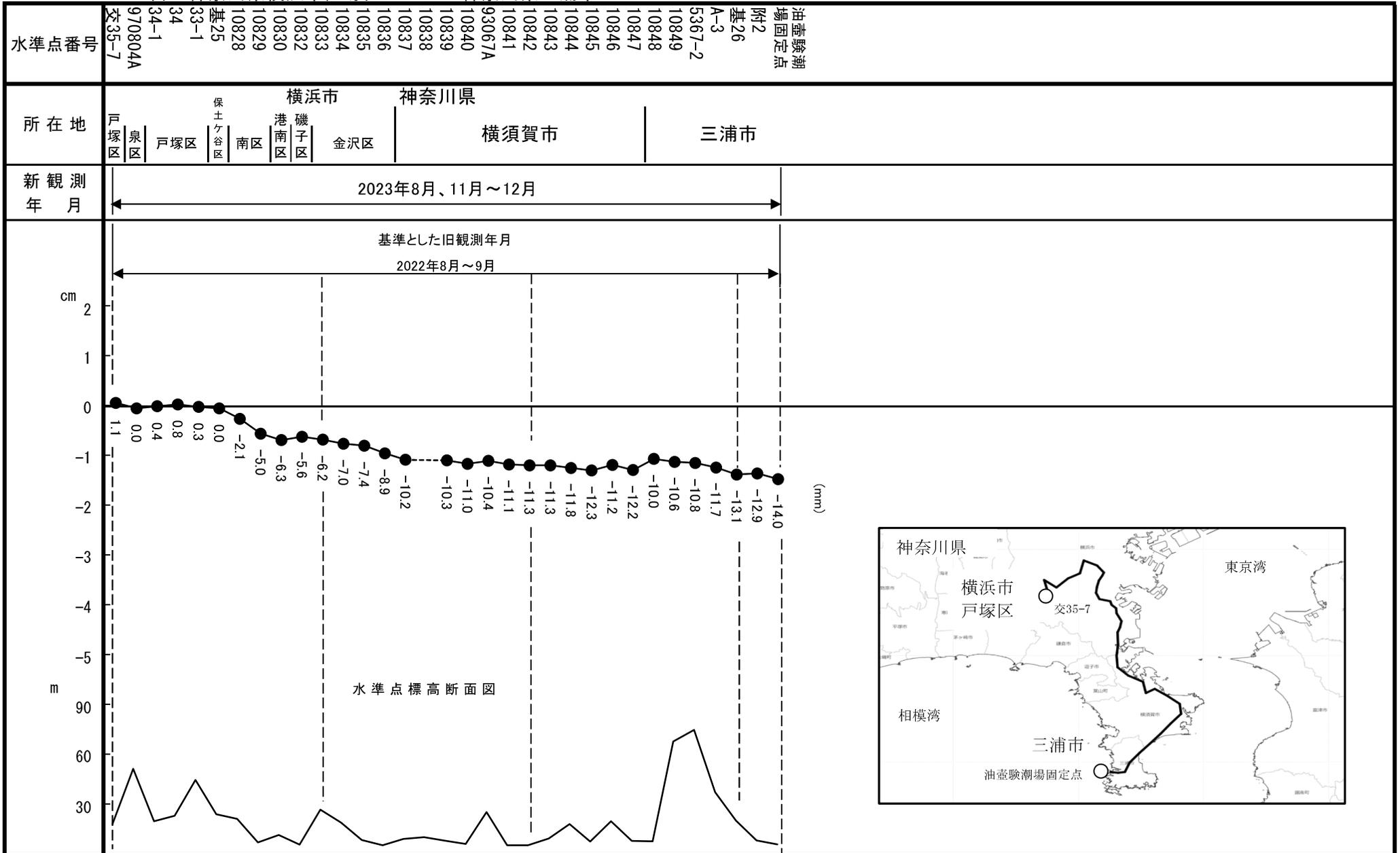
23-02-04

自 東京都千代田区 至 神奈川県横浜市保土ヶ谷区

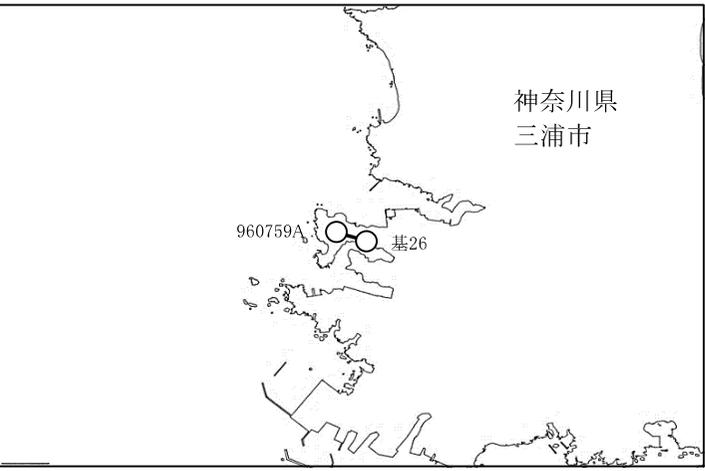


23-02-05

自 神奈川県横浜市戸塚区 至 神奈川県三浦市

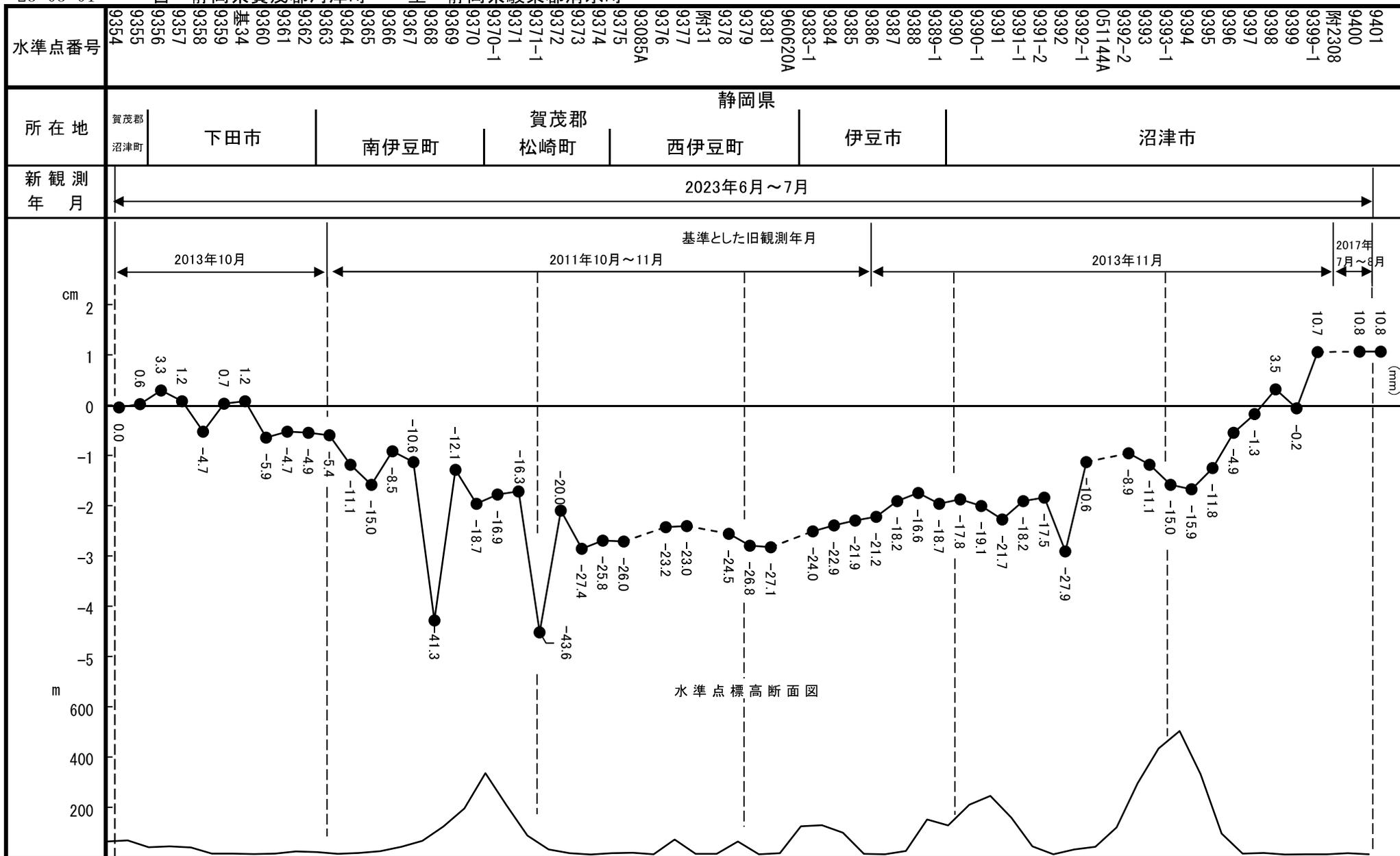


23-02-06 自 神奈川県三浦市 至 神奈川県三浦市

| | |
|--|---|
| 水準点番号 | 基26 960759A |
| 所在地 | 神奈川県 三浦市 |
| 新観測 年 月 | 2023年12月 |
| | 基準とした旧観測年月 2022年9月 |
| cm 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5 m 30 20 10 | <p>(mm)</p> <p>水準点標高断面図</p>  |

23-03-01

自 静岡県賀茂郡河津町 至 静岡県駿東郡清水町



23-03-01 自 静岡県賀茂郡河津町 至 静岡県駿東郡清水町

| | |
|-------------|--|
| 水準点番号 | 93043A 001-121 基準1357 9406-2 9406-1 9406 9405 9404 9403 960626A 9402 9401 |
| 所在地 | 静岡県 沼津市 駿東郡 清水町 |
| 新観測年月 | 2023年6月～7月 |
| 観測値 (mm) | 基準とした旧観測年月 2017年7月～8月 |
| 断面図 (m) | 水準点標高断面図 |



23-03-02

自 静岡県賀茂郡南伊豆町 至 静岡県賀茂郡南伊豆町

| 水準点番号 9364 附3302 10496 10497 10498 10499 93086A | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|-------|----------|------|------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|--------|------|
| 所在地 静岡県 賀茂郡 南伊豆町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新観測 年月 2023年6月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準とした旧観測年月 2013年10月 | <div data-bbox="168 598 548 861"> <table border="1"> <caption>観測点ごとの高さ差 (mm)</caption> <thead> <tr> <th>水準点番号</th> <th>高さ差 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9364</td> <td>-1.7</td> </tr> <tr> <td>附3302</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>10496</td> <td>6.6</td> </tr> <tr> <td>10497</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>10498</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>10499</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>93086A</td> <td>-3.0</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="168 1173 470 1380"> <p>水準点標高断面図</p> </div> <div data-bbox="981 957 1646 1364"> <p>静岡県 賀茂郡 南伊豆町</p> <p>9364</p> <p>93086A</p> <p>石廊崎</p> </div> | | 水準点番号 | 高さ差 (mm) | 9364 | -1.7 | 附3302 | 3.9 | 10496 | 6.6 | 10497 | 7.0 | 10498 | 3.7 | 10499 | 0.6 | 93086A | -3.0 |
| 水準点番号 | 高さ差 (mm) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9364 | -1.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 附3302 | 3.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10496 | 6.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10497 | 7.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10498 | 3.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10499 | 0.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 93086A | -3.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

23-03-03 自 静岡県賀茂郡西伊豆町 至 静岡県賀茂郡西伊豆町

| | | |
|---|-----------------------------|---|
| 水準点番号 | 9378 田子駿潮場 固定点 附31 | |
| 所在地 | 静岡県 賀茂郡 西伊豆町 | |
| 新観測 年月 | ↔ | 2023年6月～7月 |
| cm 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5 m 15 10 5 | ↔ | 基準とした旧観測年月 2011年10月 |
| | 0.0 -1.4 -2.3 (mm) | 水準点標高断面図  |

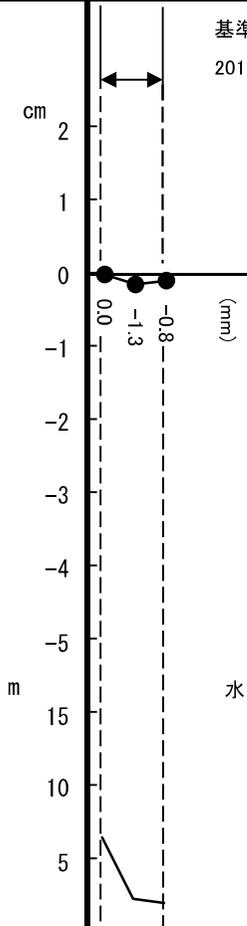
23-03-04 自 静岡県沼津市 至 静岡県沼津市

水準点番号 9400
内浦検潮所
固定点
附2308

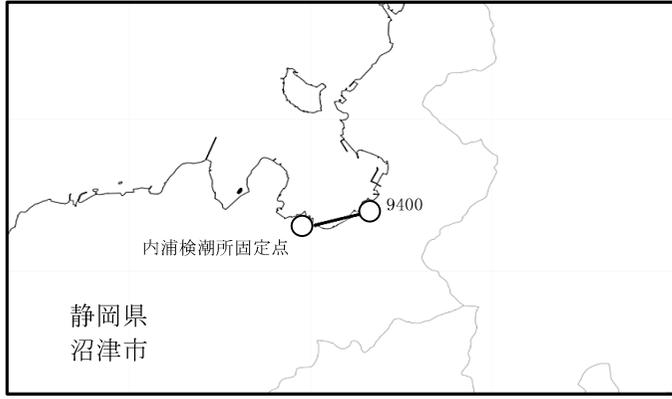
所在地 静岡県
沼津市

新観測年 月 2023年7月

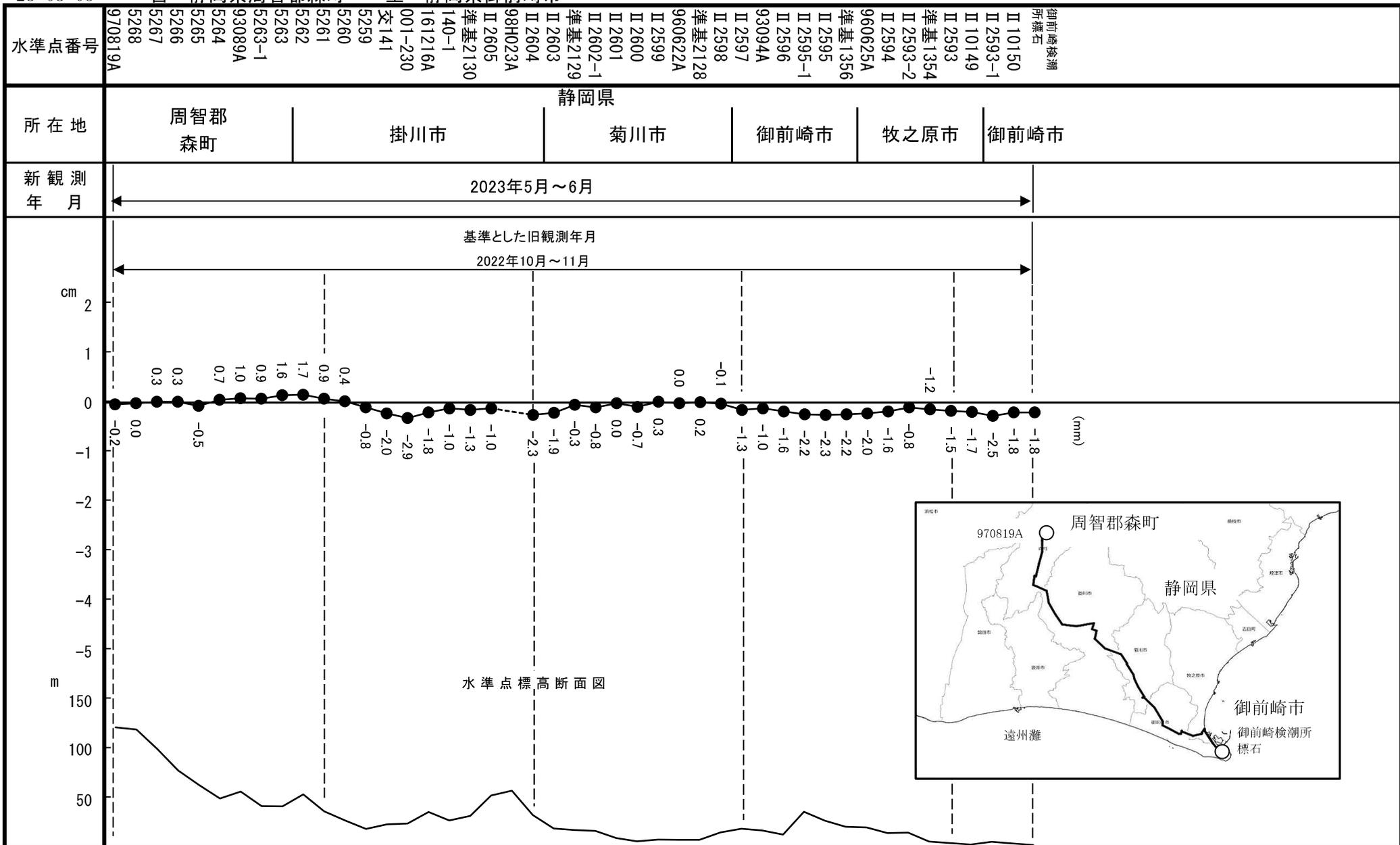
基準とした旧観測年月
2017年7月



水準点標高断面図



23-03-05 自 静岡県周智郡森町 至 静岡県御前崎市



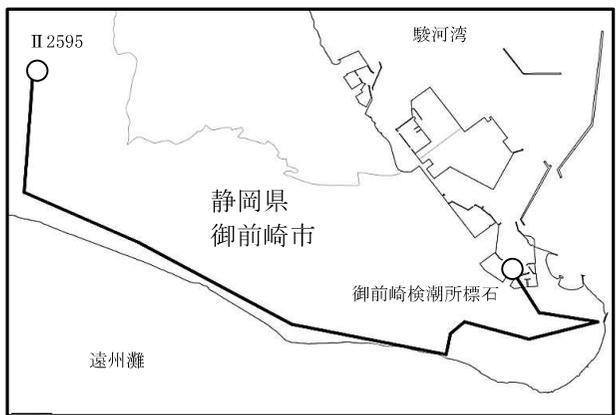
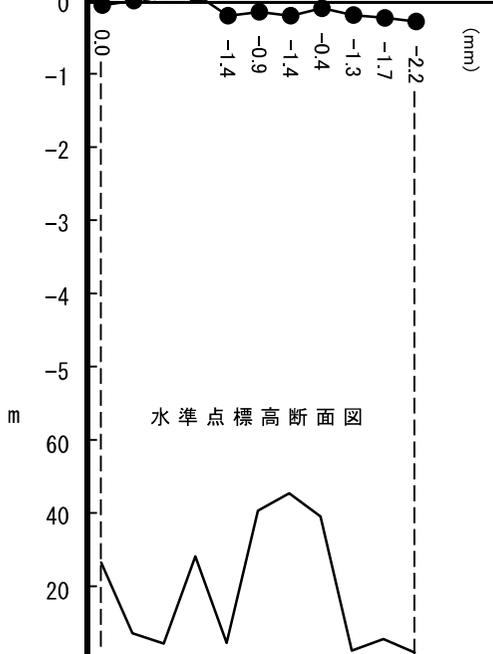
23-03-06

自 静岡県御前崎市 至 静岡県御前崎市

| | |
|-------|--|
| 水準点番号 | II 2595 II 10155 II 10154 II 10153 II 10152 水管固定点 091178A 水管東補助点 II 10151 観測標行風水準点 所標石 御前崎検潮所 |
|-------|--|

| | |
|-----|-------------|
| 所在地 | 静岡県 御前崎市 |
|-----|-------------|

| | |
|-------|---------|
| 新観測年月 | 2023年6月 |
|-------|---------|

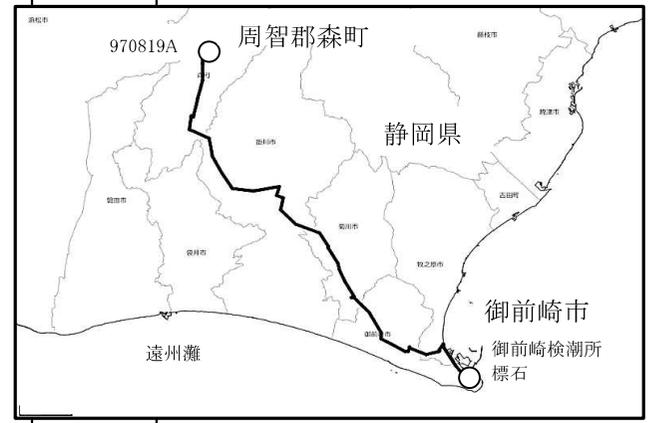
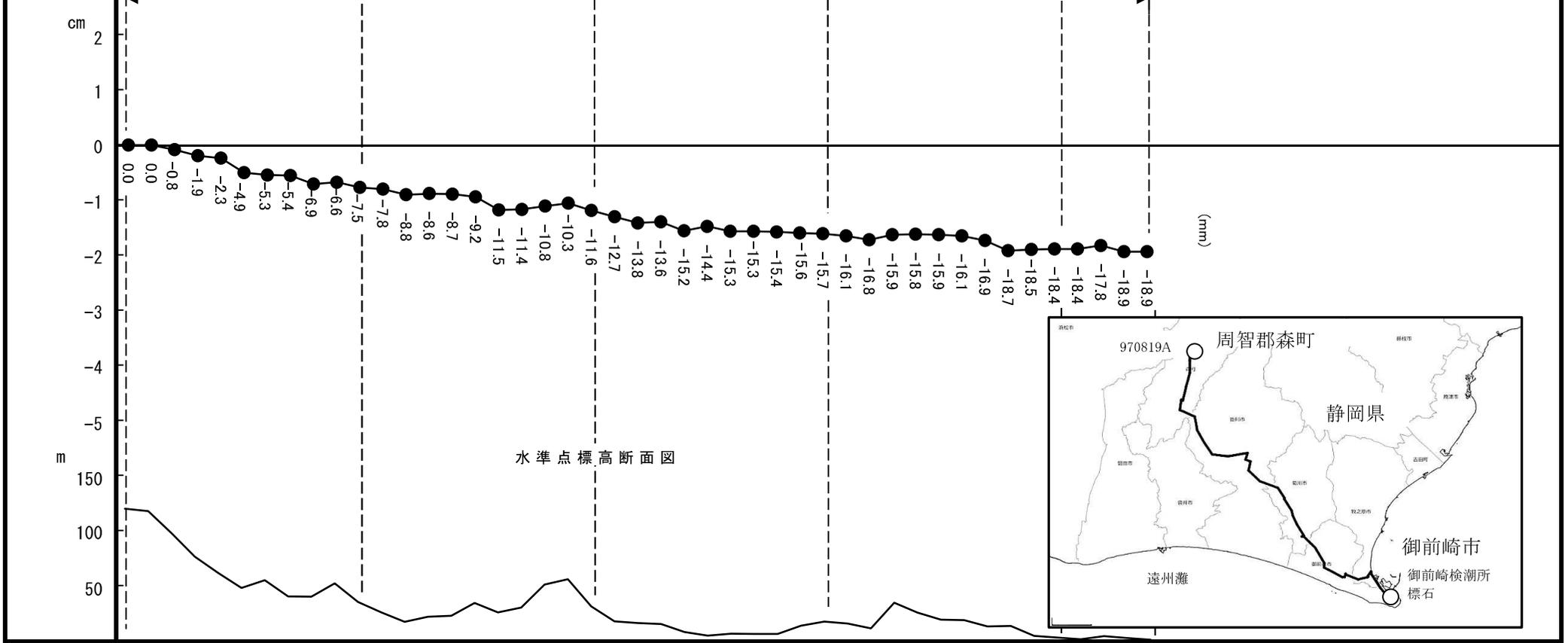


23-03-07 自 静岡県周智郡森町 至 静岡県御前崎市

| | |
|-------|---|
| 水準点番号 | 970819A 5268 5267 5266 5265 5264 93089A 5263-1 5263 5262 5261 5260 5259 交141 001-230 161216A 140-1 準基2130 98H023A II 2605 II 2604 II 2603 準基2129 II 2602-1 II 2601 II 2600 II 2599 960622A 準基2128 II 2598 II 2597 93094A II 2596 II 2595-1 II 2595 準基1356 960625A II 2594 II 2593-2 準基1354 II 2593 II 10149 II 2593-1 II 10150 御前崎検潮所標石 |
| 所在地 | 周智郡 森町 掛川市 静岡県 菊川市 御前崎市 牧之原市 御前崎市 |

| | |
|-------|------------------|
| 新観測年月 | ← 2023年10月~11月 → |
|-------|------------------|

| | |
|------------|----------------|
| 基準とした旧観測年月 | ← 2023年5月~6月 → |
|------------|----------------|

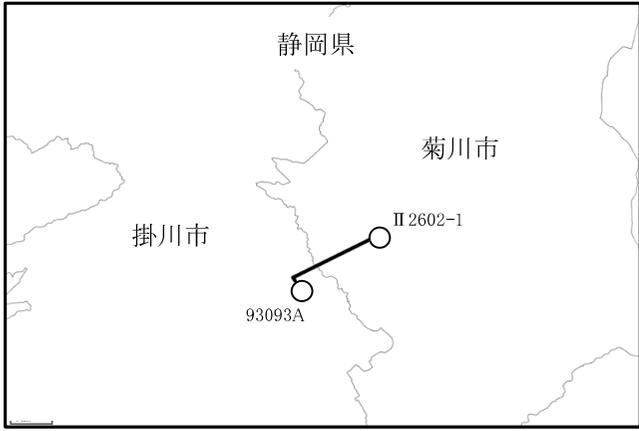
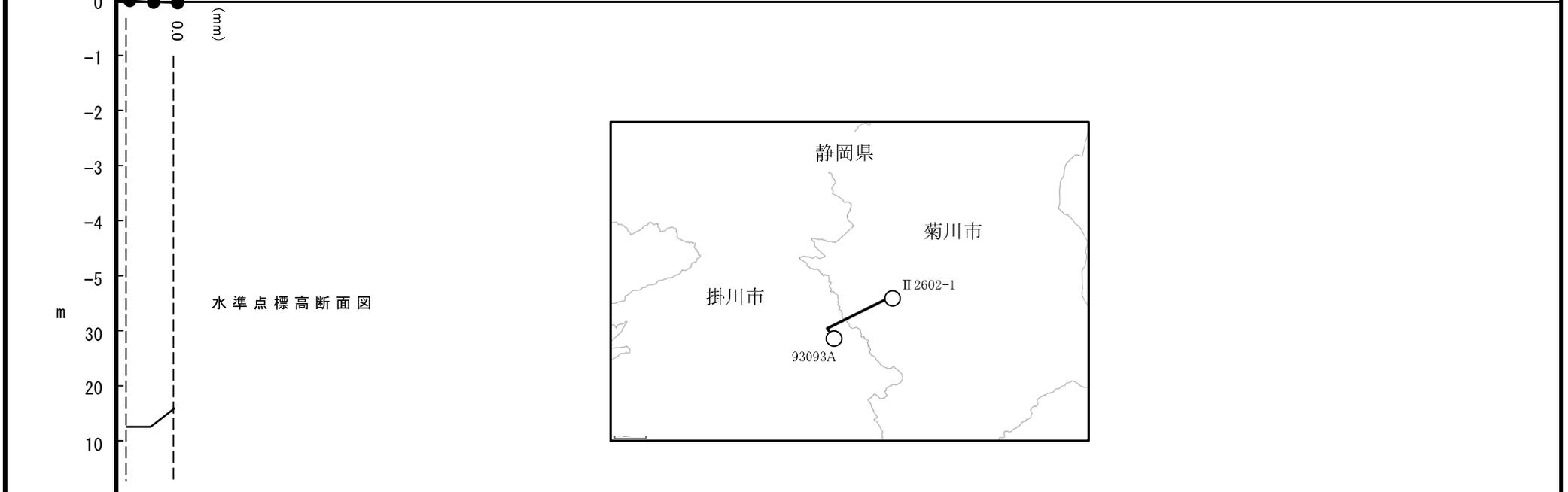


23-03-09 自 静岡県掛川市 至 静岡県菊川市

| | |
|-------|-----------------------------|
| 水準点番号 | 93093A Ⅱ10333 Ⅱ2602-1 |
|-------|-----------------------------|

| | |
|-----|-------------------|
| 所在地 | 静岡県 掛川市 菊川市 |
|-----|-------------------|

| | |
|-------|--|
| 新観測年月 | 2023年6月  |
|-------|--|

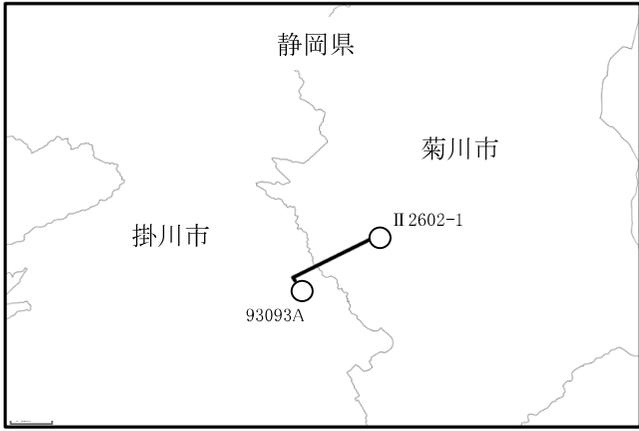
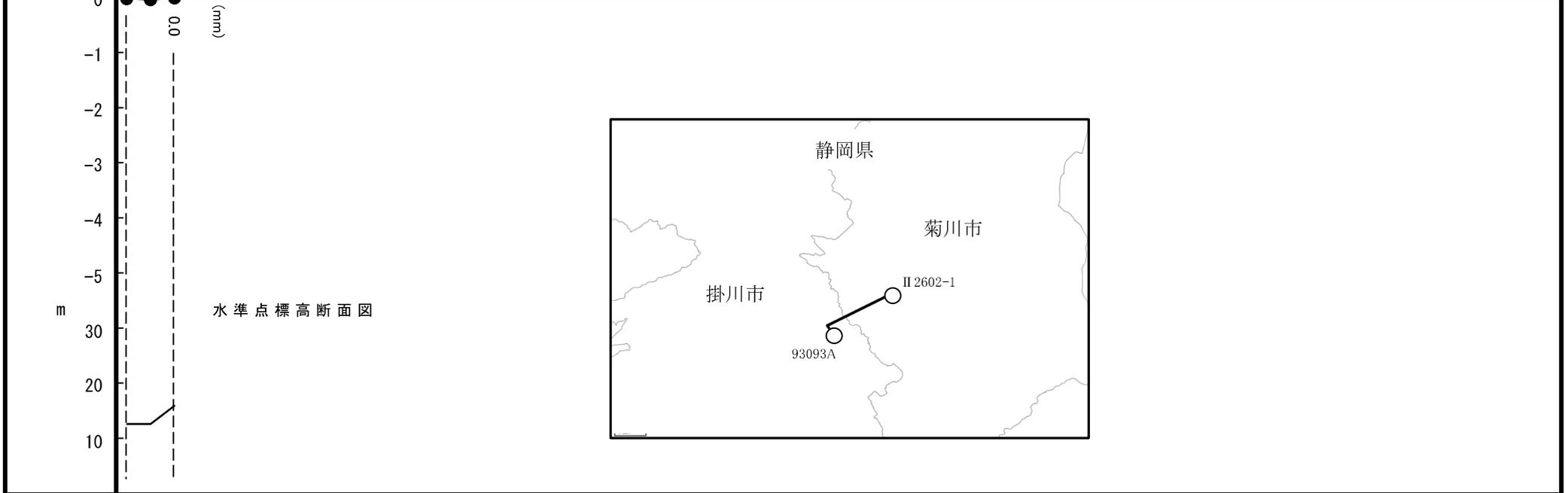


23-03-10 自 静岡県掛川市 至 静岡県菊川市

| | |
|-------|---------------------------------|
| 水準点番号 | 93093A II 10333 II 2602-1 |
|-------|---------------------------------|

| | |
|-----|------------------|
| 所在地 | 静岡県 掛川市 菊川市 |
|-----|------------------|

| | |
|-------|------------|
| 新観測年月 | ↔ 2023年10月 |
|-------|------------|

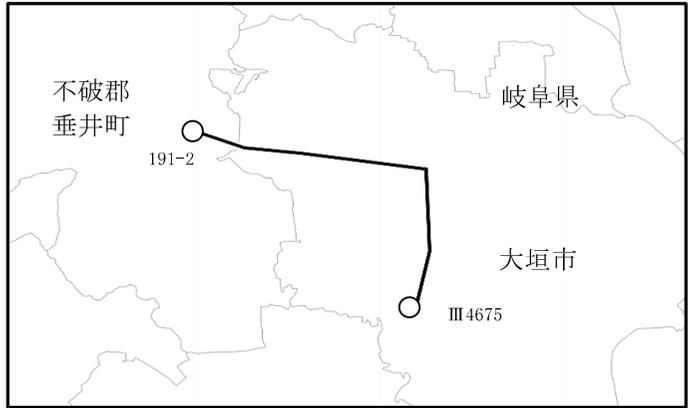
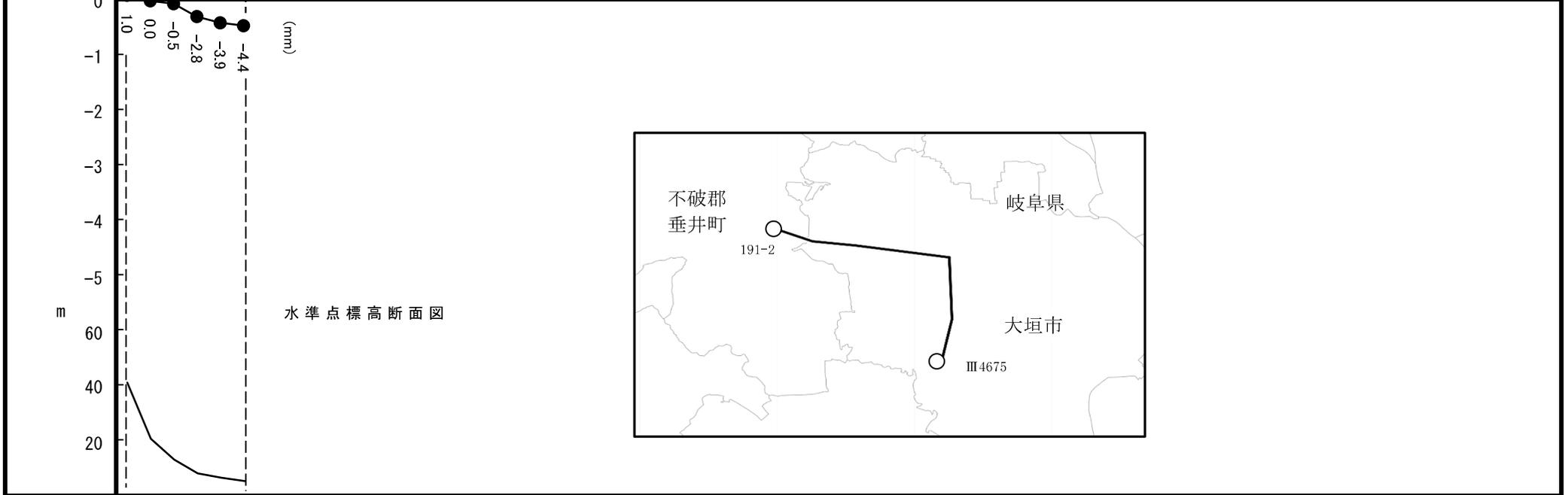
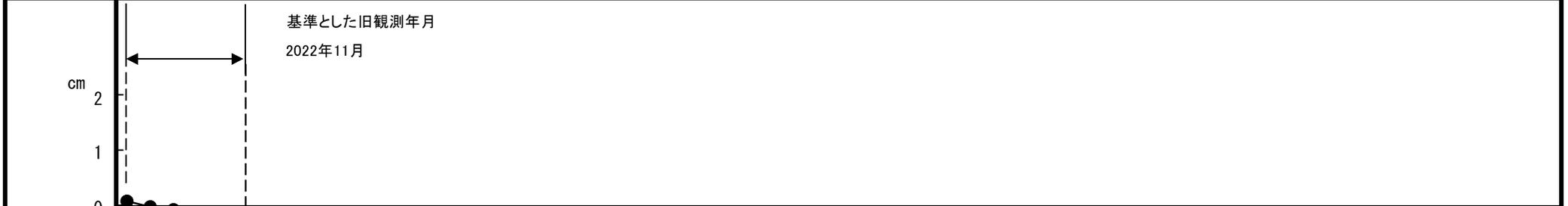


23-04-01 自 岐阜県不破郡垂井町 至 岐阜県大垣市

| | |
|-------|--|
| 水準点番号 | 191-2 191 Ⅲ4671 Ⅲ4673 Ⅲ4674 Ⅲ4675 |
|-------|--|

| | |
|-----|----------------|
| 所在地 | 岐阜県 垂井郡 大垣市 |
|-----|----------------|

| | |
|-------|----------|
| 新観測年月 | 2023年10月 |
|-------|----------|



23-04-02 自 岐阜県大垣市 至 岐阜県不破郡垂井町

| | |
|---|---------------------------------|
| 水準点番号 | 950291A 191 |
| 所在地 | 岐阜県 不破郡 垂井町 大垣市 |
| 新観測 年 月 | 2023年10月 |
| | 基準とした旧観測年月 2022年11月 |
| cm 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5 m 30 20 10 | (mm) 0.0 -1.9 水準点標高断面図 |
|  | |

23-04-03

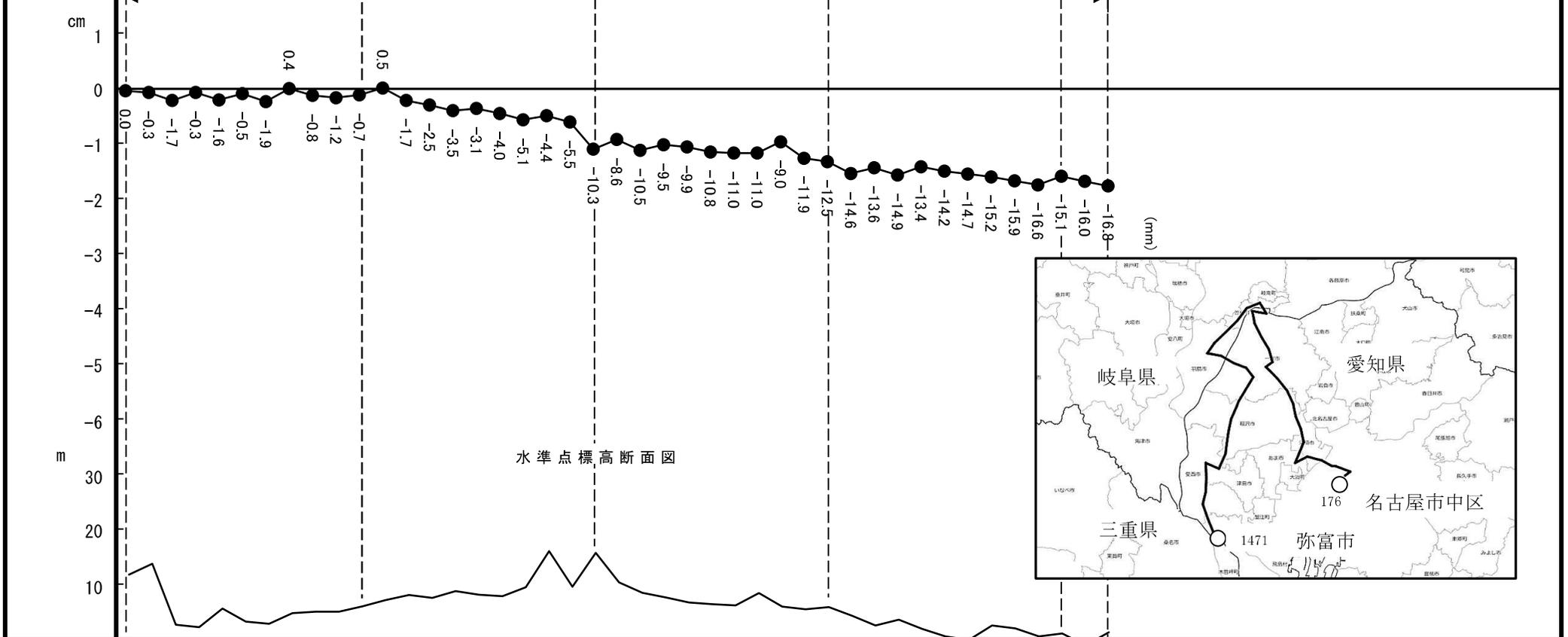
自 愛知県名古屋市中区 至 愛知県弥富市

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|-------|-------|---------|-----|-------|---------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|---------|-----|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
| 水準点番号 | 176 | 176-0 | 176-1 | 022-008 | 177 | 177-1 | 950299A | 178 | 178-1 | 179 | 179-1 | 180 | 180-1 | 970822A | 181 | 181-1 | 182 | 182-1 | 182-2 | 183 | 183-1 | 184 | II 3363 | II 3364 | II 3365 | II 3357 | II 4685 | II 4686 | II 4687 | II 1036 | II 4411 | II 1038 | II 4423 | II 1039 | II 1040 | II 1041-1 | II 1041-7 | II 4430 | II 4431 | II 4432 | II 4433 | II 4434 | 1471 |
|-------|-----|-------|-------|---------|-----|-------|---------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|---------|-----|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|------|

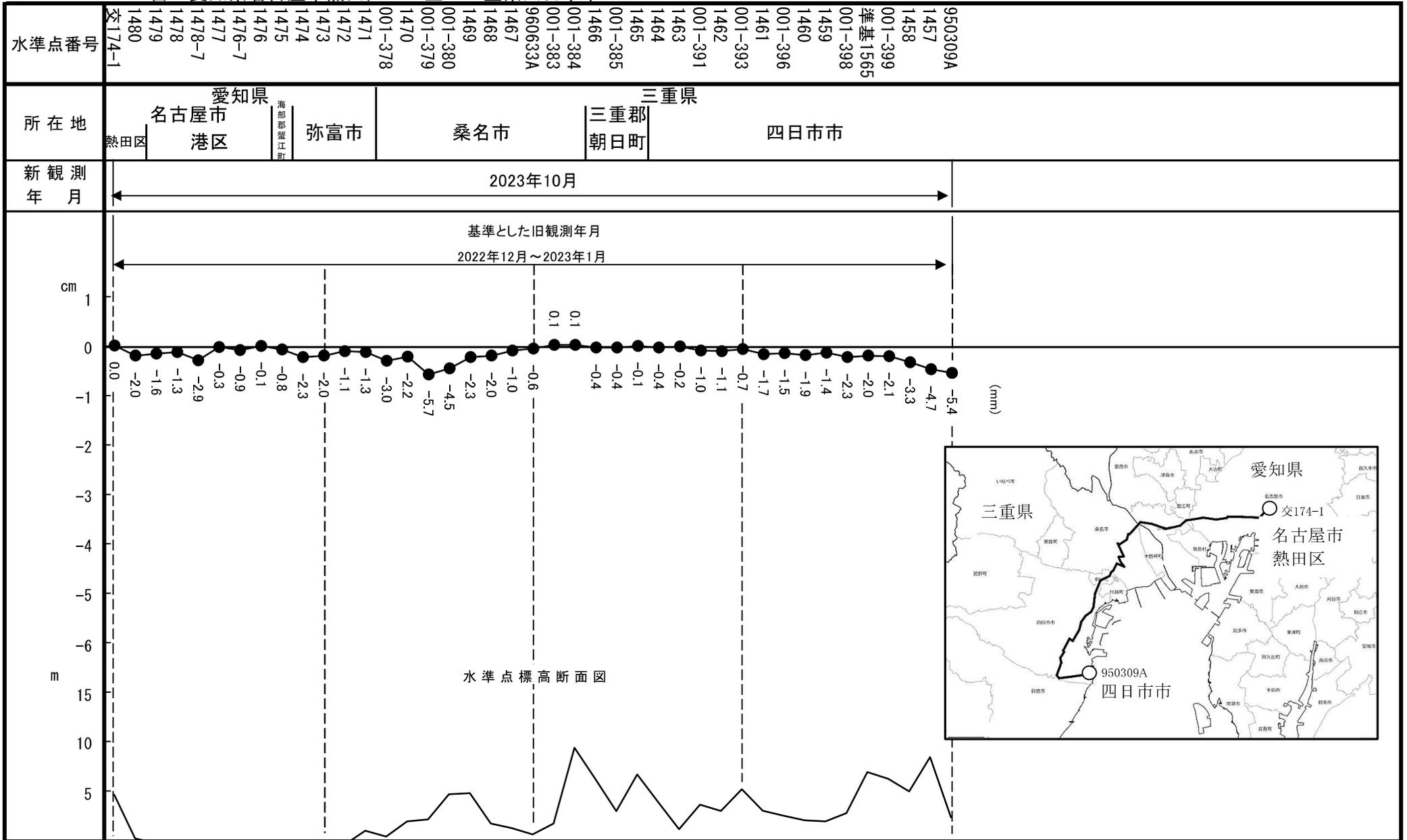
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------------|--|-----|-----|-----|------------|--|--|-----|-------------------|-----|-----|------------|--|-----|-----|-----|
| 所在地 | 名古屋市 中区 西区 | | 清須市 | あま市 | 清須市 | 愛知県 稲沢市 | | | 一宮市 | 岐阜県 羽島郡 笠松町 | 羽島市 | 一宮市 | 愛知県 稲沢市 | | 津島市 | 愛西市 | 弥富市 |
|-----|---------------|--|-----|-----|-----|------------|--|--|-----|-------------------|-----|-----|------------|--|-----|-----|-----|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 新観測年月 | 2023年9月～10月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 基準とした旧観測年月 | 2022年10月～12月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|



23-04-04 自 愛知県名古屋市熱田区 至 三重県四日市市

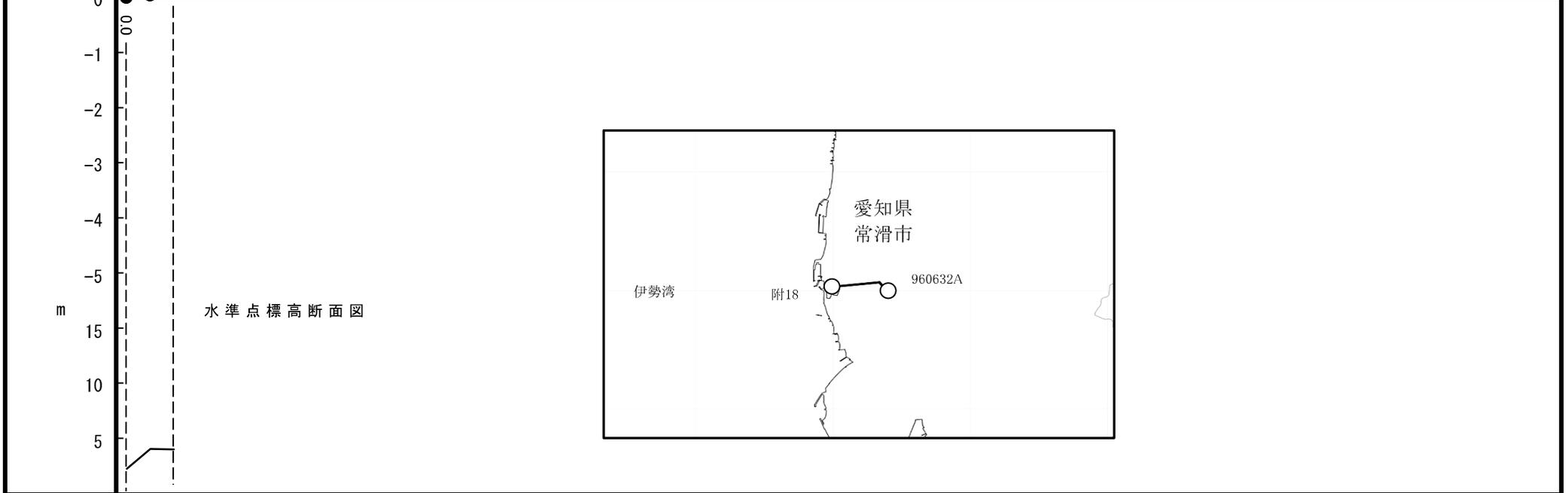


23-04-06 自 愛知県常滑市 至 愛知県常滑市

| | |
|-------|-------------------------|
| 水準点番号 | 960632A 11149 附18 |
|-------|-------------------------|

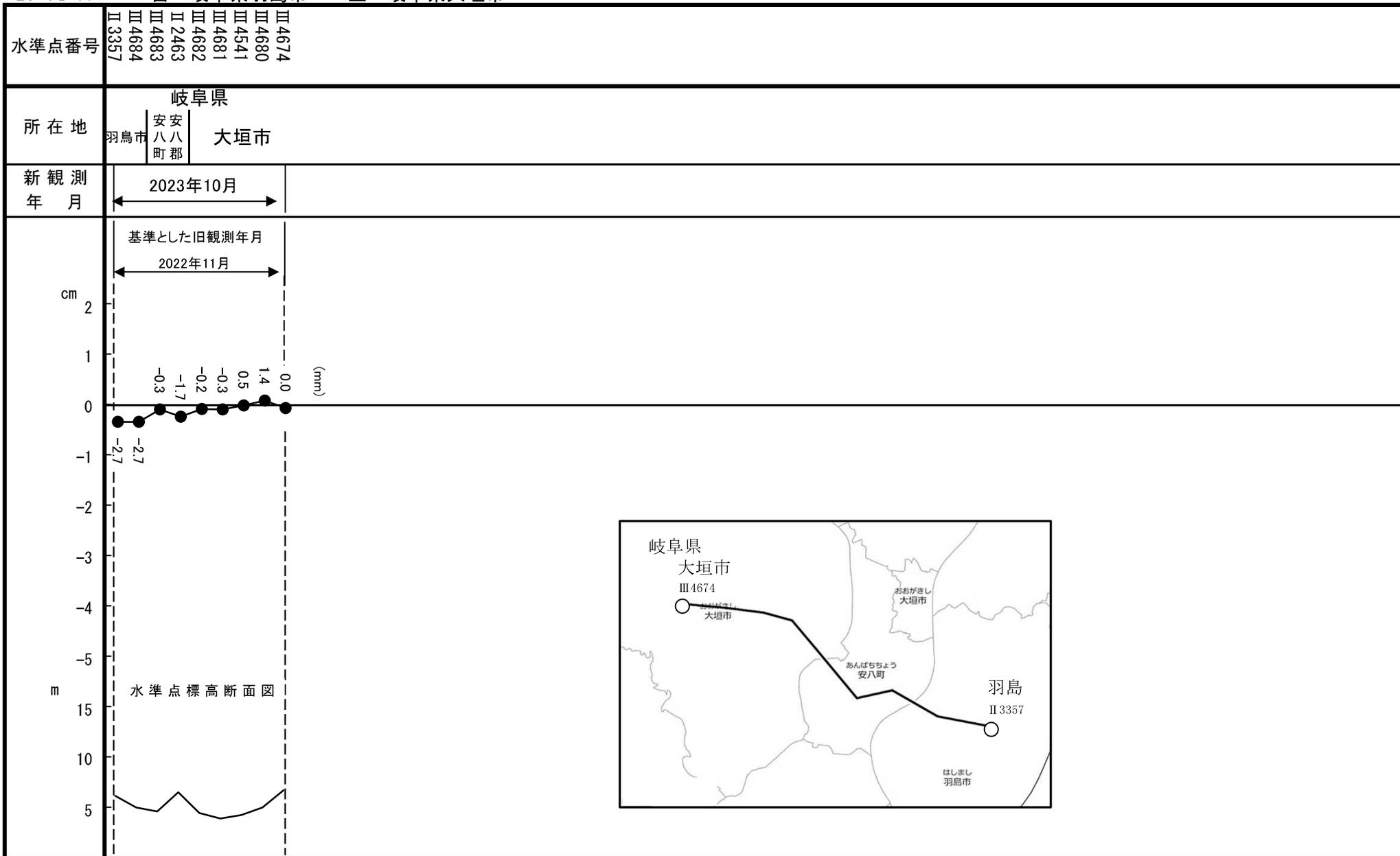
| | |
|-----|------------|
| 所在地 | 愛知県 常滑市 |
|-----|------------|

| | |
|-------|----------|
| 新観測年月 | 2023年10月 |
|-------|----------|



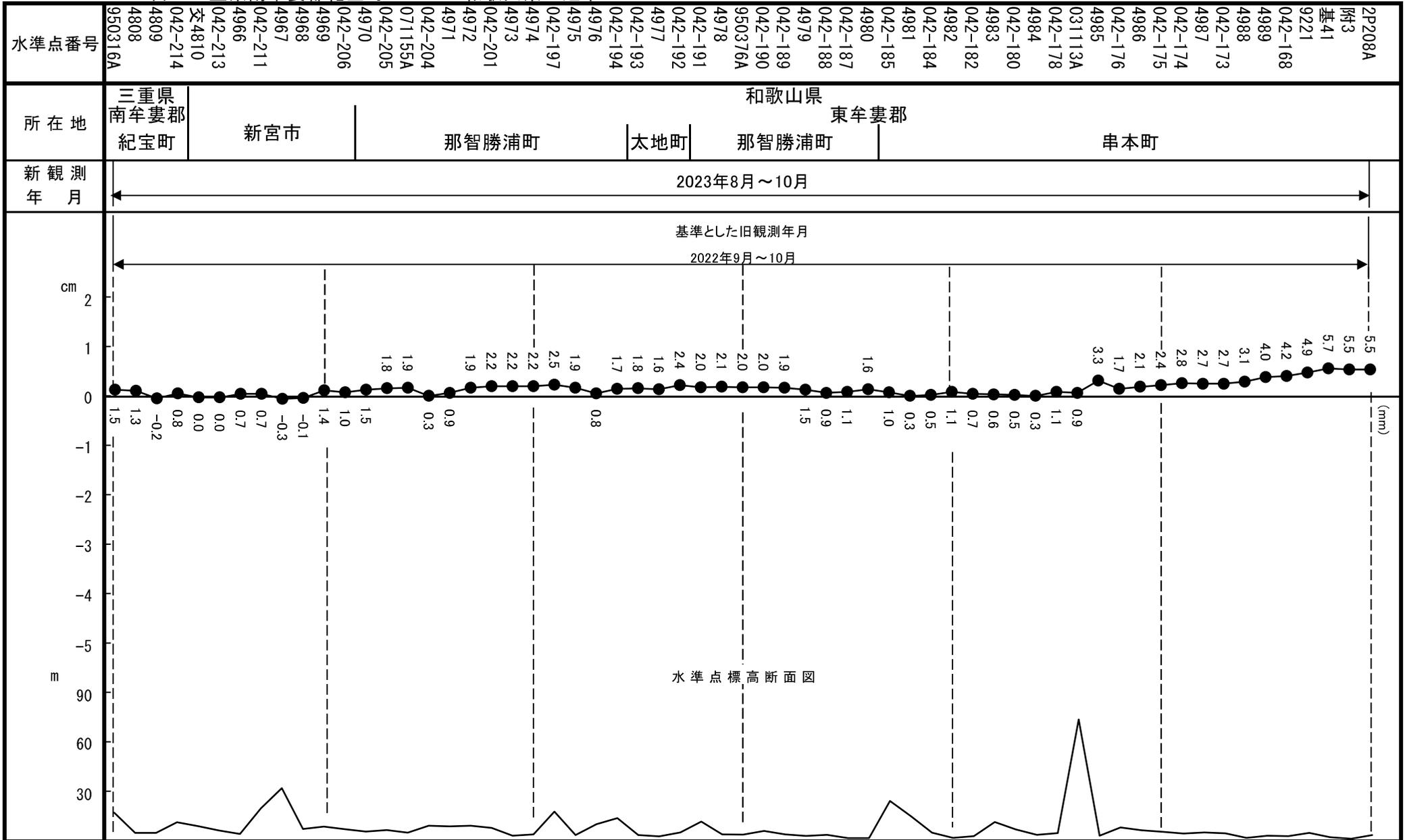
23-04-07

自 岐阜県羽島市 至 岐阜県大垣市

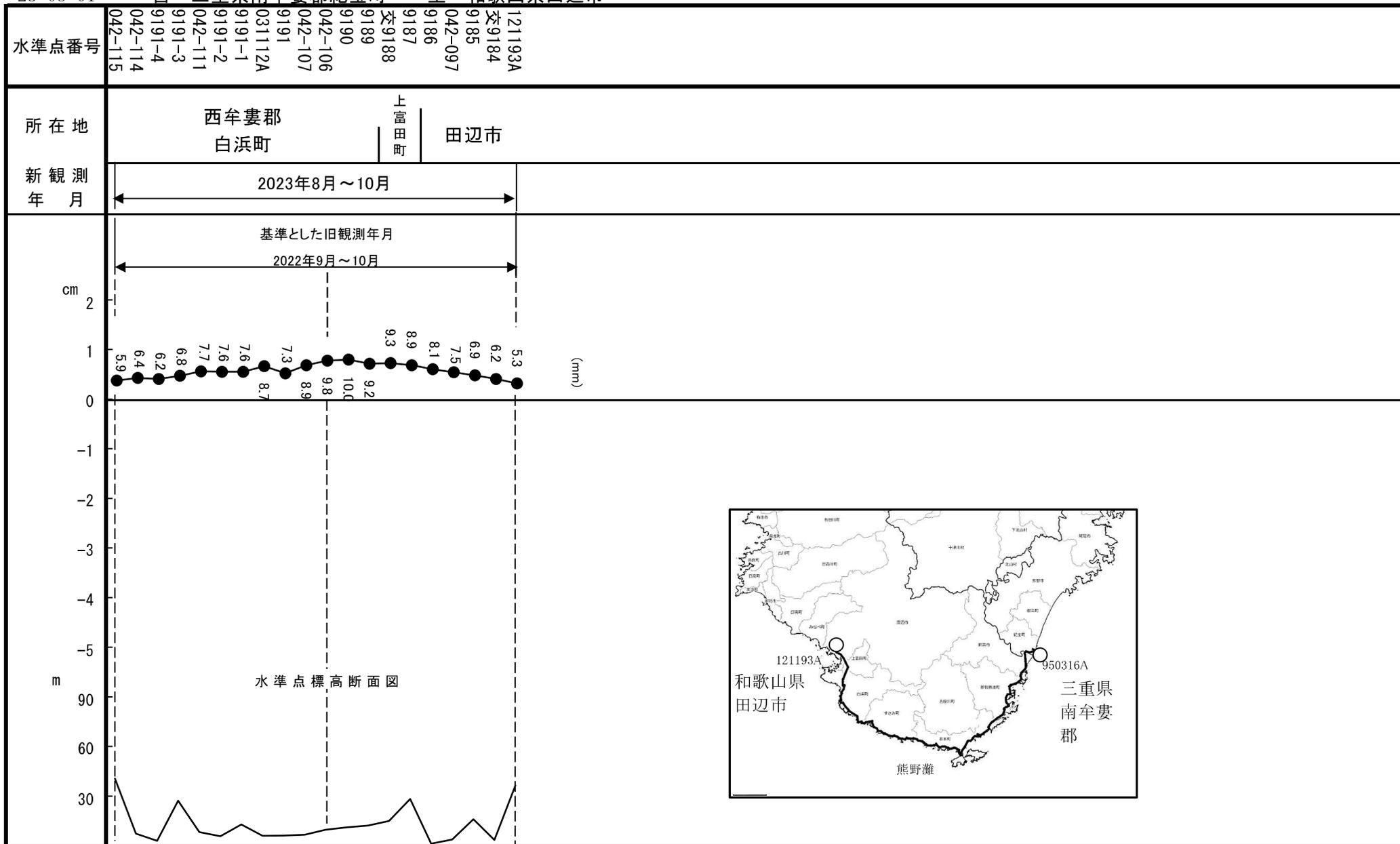


23-05-01

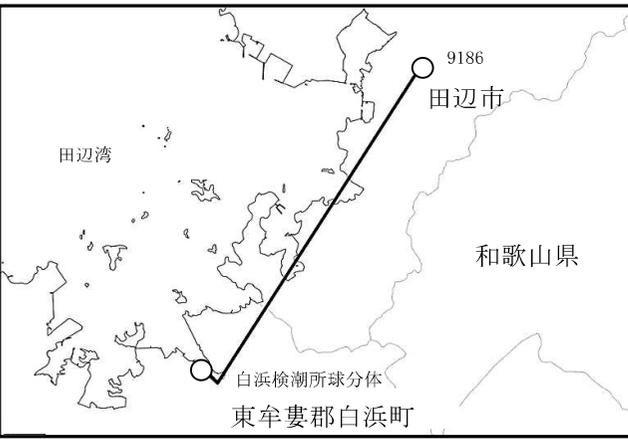
自 三重県南牟婁郡紀宝町 至 和歌山県田辺市



23-05-01 自 三重県南牟婁郡紀宝町 至 和歌山県田辺市



23-05-02 自 和歌山県東牟婁郡白浜町 至 和歌山県田辺市

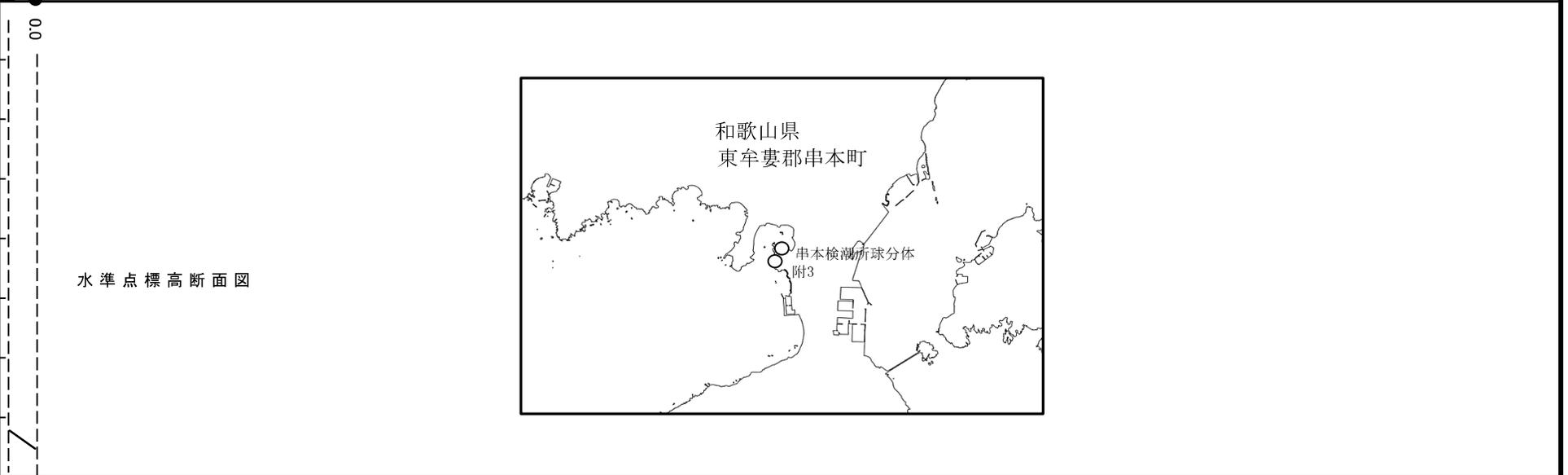
| | | | |
|--|-----------------------------|---|--|
| 水準点番号 | 9186 白浜検潮所附属水準点 | | |
| 所在地 | 和歌山県 東牟婁郡 田辺市 白浜町 | | |
| 新観測年月 | ↔ | 2023年9月 | |
| cm 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4 m 15 10 5 | ↔ | 基準とした旧観測年月 2022年9月 | |
| | (mm) -1.0 -2.1 0.0 | 水準点標高断面図  | |

23-05-03 自 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町 至 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町

| | |
|-------|------------------------------------|
| 水準点番号 | 4980 浦神検潮所付属水準点 浦神検潮所球分体 |
| 所在地 | 和歌山県 東牟婁郡 那智勝浦町 |
| 新観測年月 | 2023年9月 |
| cm | 基準とした旧観測年月 2022年10月 0.0 (mm) |
| m | 水準点標高断面図 0.1 -0.5 |

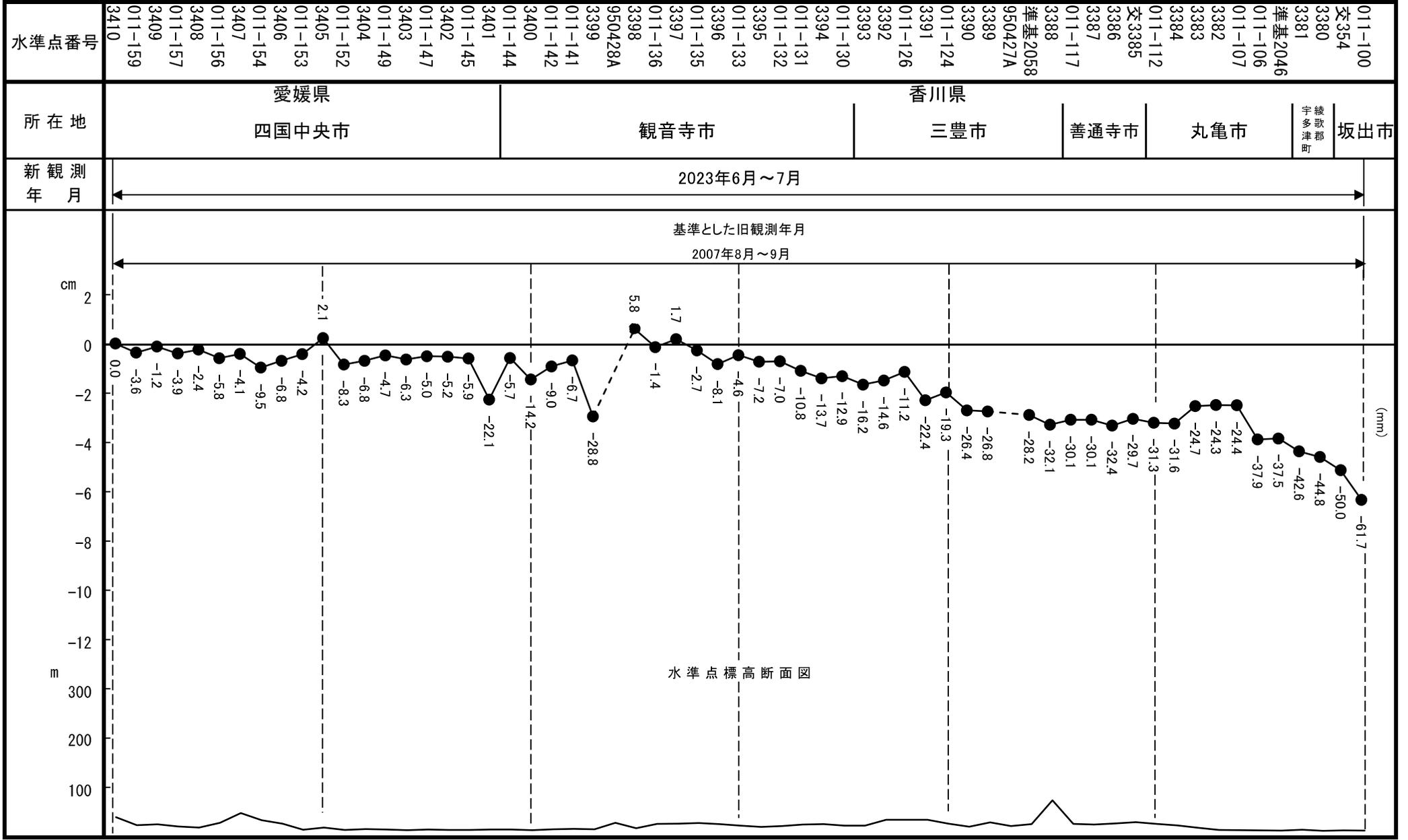


23-05-04 自 和歌山県東牟婁郡串本町 至 和歌山県東牟婁郡串本町

| | |
|--|--|
| 水準点番号 | 串本検潮所球分体 附3 |
| 所在地 | 和歌山県 東牟婁郡 串本町 |
| 新観測 年月 | 2023年9月 |
| 年 月 | 基準とした旧観測年月 2022年10月 |
| cm 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4 m 15 10 5 | <p>水準点標高断面図</p>  <p>和歌山県 東牟婁郡串本町</p> <p>串本検潮所球分体 附3</p> |

23-06-01

自 愛媛県四国中央市 至 徳島県阿波市



23-06-01

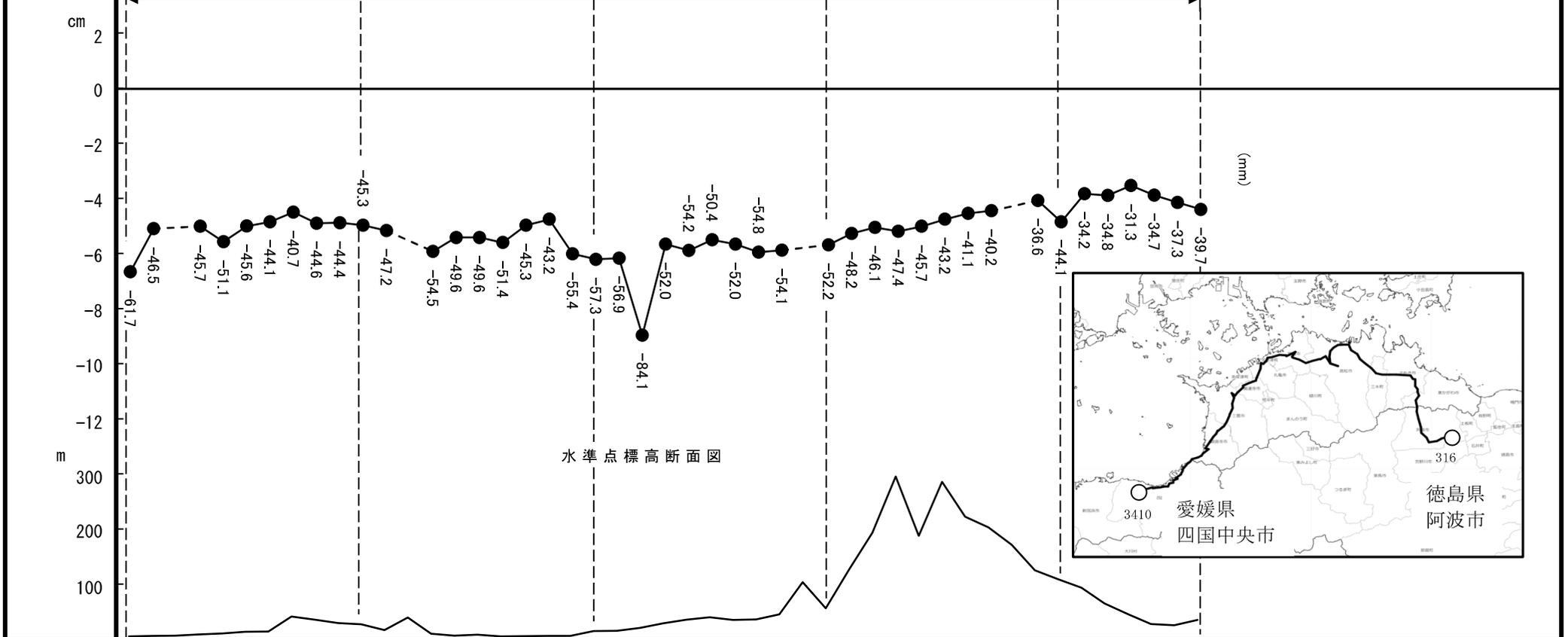
自 愛媛県四国中央市 至 徳島県阿波市

| | |
|-------|---|
| 水準点番号 | 011-100 353 021045A 準基2057 011-098 352 351 350 349 348 準基2056 347 141204A 346 345 基42 344 343 342 341 340 339 338 337 336 335 334 333 332 950426A 331 330 329 328-1 328 327 326 325 324 323 322 321 320 319 318 317 316 |
|-------|---|

| | | | | | | |
|-----|-----|-----|------------|------|-------|------------|
| 所在地 | 坂出市 | 高松市 | 木田郡 三木町 | さぬき市 | 東かがわ市 | 徳島県 阿波市 |
|-----|-----|-----|------------|------|-------|------------|

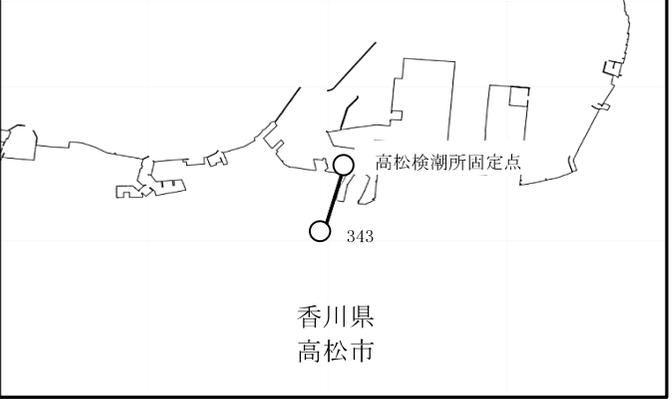
| | | | | | | |
|-------|------------|--|--|--|--|--|
| 新観測年月 | 2023年6月～7月 | | | | | |
|-------|------------|--|--|--|--|--|

| | | | | | | |
|------------|------------|--|--|--|--|--|
| 基準とした旧観測年月 | 2007年8月～9月 | | | | | |
|------------|------------|--|--|--|--|--|



23-06-02

自 香川県高松市 至 香川県高松市

| | |
|---|--|
| 水準点番号 | 343 香川県高松市 高松検潮所 固定点 水準点 |
| 所在地 | 香川県 高松市 |
| 新観測 年月 | 2023年6月 |
| cm 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5 m 15 10 5 | <p>基準とした旧観測年月 2007年9月</p> <p>(mm)</p> <p>0.0 -4.2 -3.2</p> <p>水準点標高断面図</p>  |

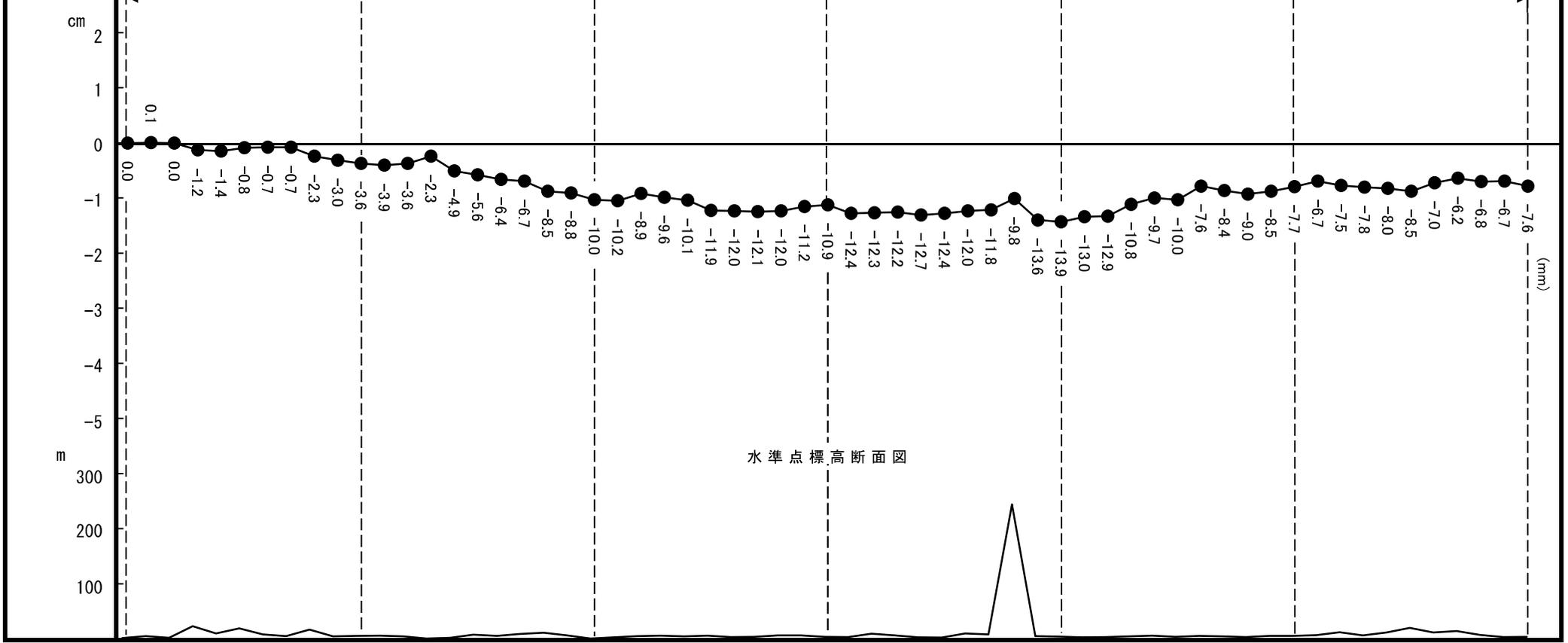
23-07-01

自 高知県香南市 至 徳島県海部郡美波町

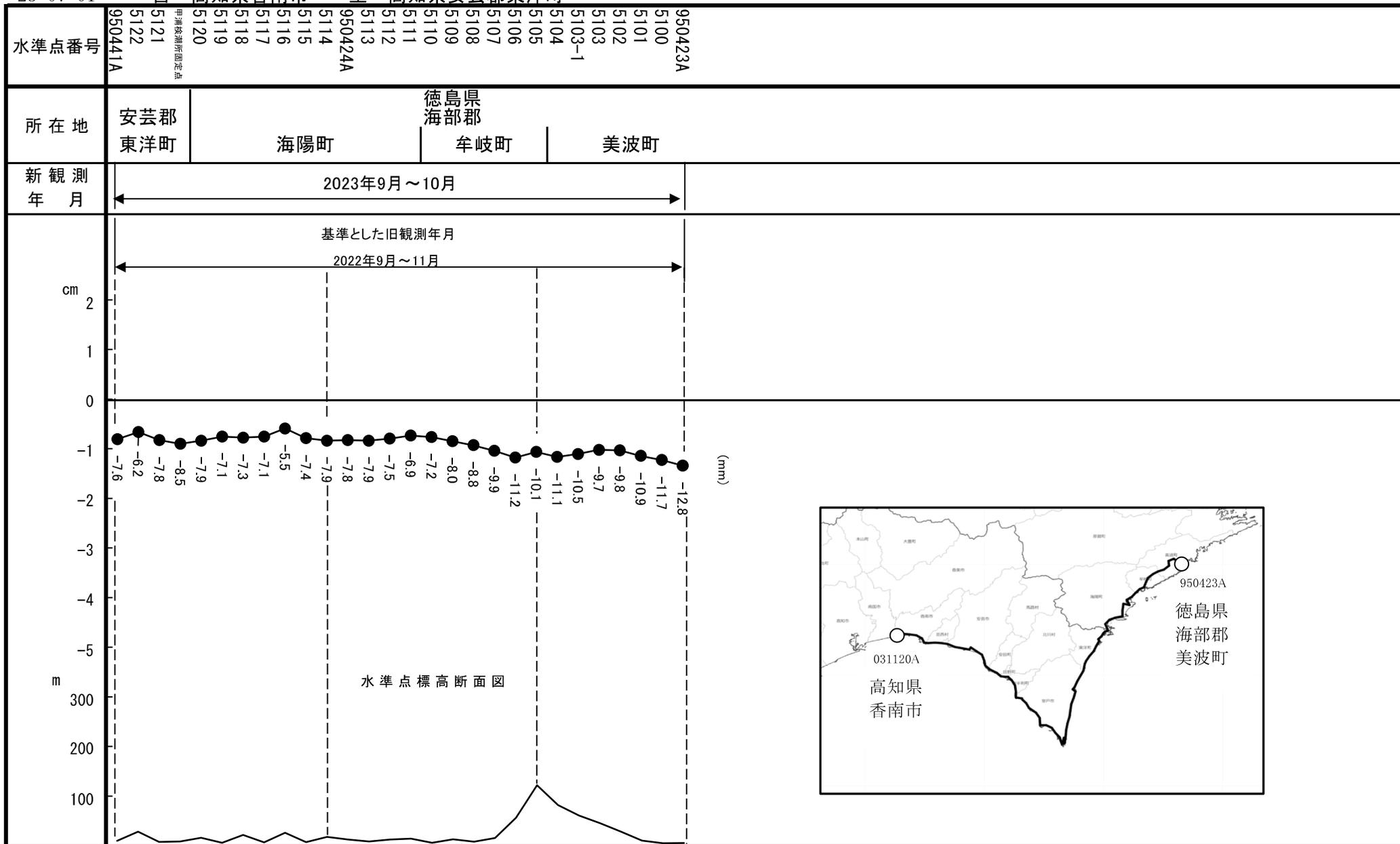
| | |
|-------|--|
| 水準点番号 | 031120A 5174 5173 5172 5171 5170 5169 5168 5167 5166 5165 5164 950442A 5163 5162 5161 5160 5159 5158 5157 950444A 5156 5155 5154 5153 5152 5151 031121A 5150 5149 5148 5147 5146 5145 5144 5143 5142 5141 031122A 基46 5140 5139 5138 5137 5136 5135 5134 5133 5132 021055A 5131 5130 5129 5128 5127 5127-1 5126 5125 5124 5123 950441A |
| 所在地 | 香南市 安芸郡 芸西村 安芸市 安芸郡 安田町 田野町 奈半利町 高知県 室戸市 安芸郡 東洋町 |

新観測年月: 2023年9月～10月

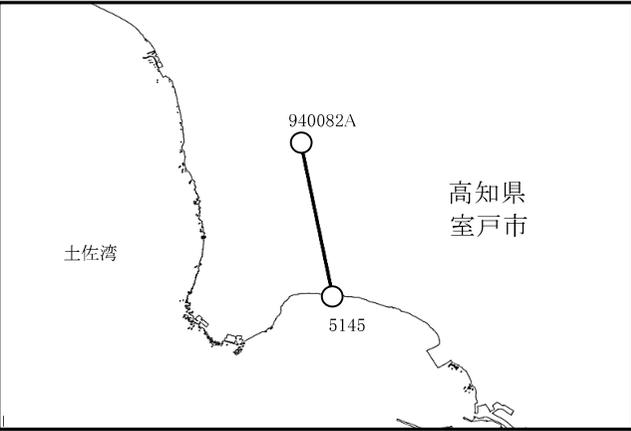
基準とした旧観測年月: 2022年9月～11月



23-07-01 自 高知県香南市 至 高知県安芸郡東洋町



23-07-02 自 高知県室戸市 至 高知県室戸市

| | |
|------------|---|
| 水準点番号 | 940082A 5145 |
| 所在地 | 高知県 室戸市 |
| 新観測 年 月 | 2023年10月 |
| | 基準とした旧観測年月 2022年10月 |
| cm | 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5 |
| m | 300 200 100 |
| | 水準点標高断面図 |
| |  |

23-07-03

自 高知県室戸市 至 高知県室戸市

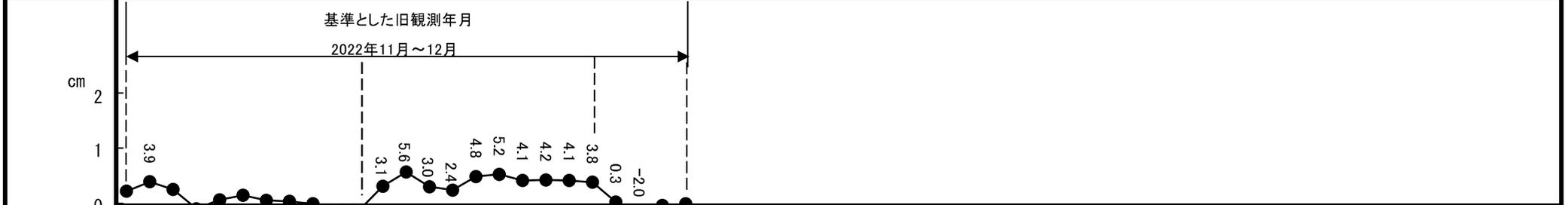
| | |
|----------|--------------------------------|
| 水準点番号 | 5142 室戸岬検潮所 固定点 気象観測所 |
| 所在地 | 高知県 室戸市 |
| 新観測年月 | 2023年10月 |
| 旧観測年月 | 基準とした旧観測年月 2022年11月 |
| 水準点標高断面図 | |

23-08-01 自 福岡県大川市 至 佐賀県杵島郡白石町

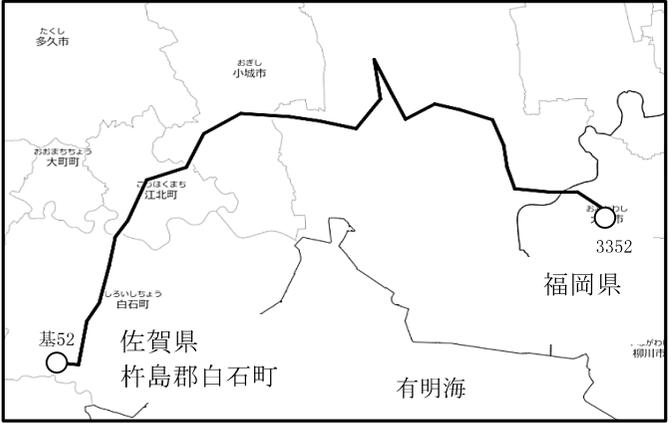
| | |
|-------|--|
| 水準点番号 | 3352 3351-1 3351 3350 準点2278 3349 3348 3347 3346 3345 950454A 3344 3343 3342 3341 3340 3339 3338 3337 3336 3335 3334 3333 3332 基52 |
|-------|--|

| | | | | | |
|-----|------------|------------|-----|-----|------------|
| 所在地 | 福岡県 大川市 | 佐賀県 佐賀市 | 小城市 | 江北町 | 杵島郡 白石町 |
|-----|------------|------------|-----|-----|------------|

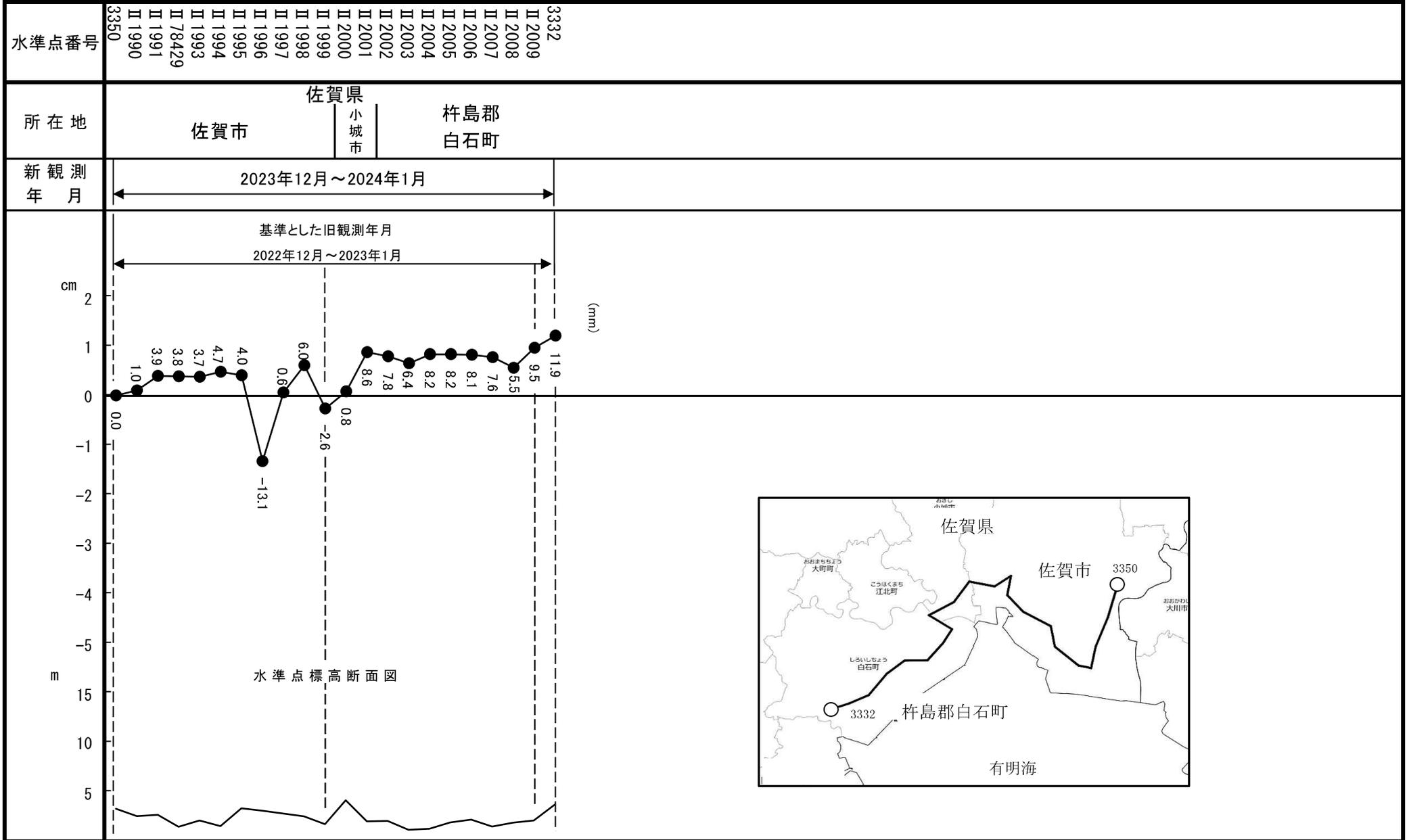
| | | | | | |
|-------|--------------|--|--|--|--|
| 新観測年月 | 2023年11月～12月 | | | | |
|-------|--------------|--|--|--|--|



水準点標高断面図

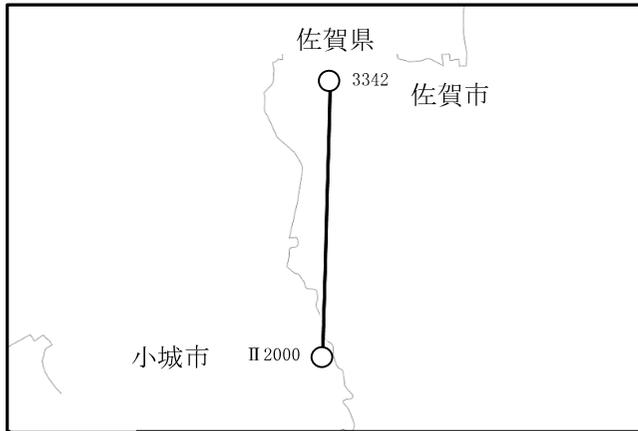


23-08-02 自 佐賀県佐賀市 至 佐賀県杵島郡白石町



23-08-03 自 佐賀県佐賀市 至 佐賀県小城市

| | |
|----------|-------------------|
| 水準点番号 | 3342 II 2000 |
| 所在地 | 佐賀県 佐賀市 小城市 |
| 新観測年月 | 2023年12月 |
| 旧観測年月 | 2022年12月 |
| 水準点標高断面図 | |

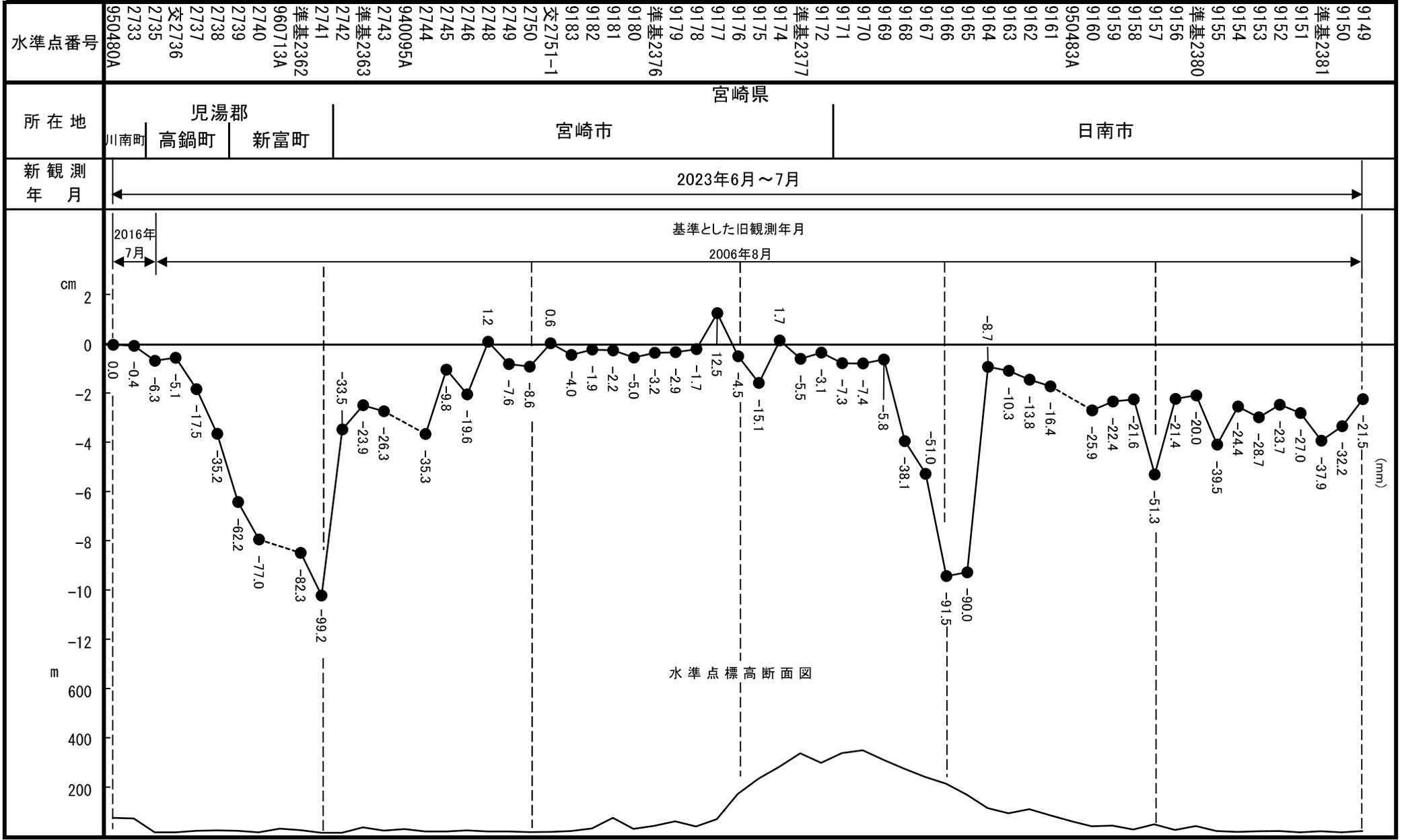


23-08-04 自 佐賀県鹿島市 至 佐賀県杵島郡白石町

| | |
|--|---|
| 水準点番号 | 950455A 3330 3331 3332 |
| 所在地 | 佐賀県 鹿島市 杵島郡 白石町 |
| 新観測年月 | 2023年10月～11月 |
| 年 月 cm 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5 | 基準とした旧観測年月 2022年11月 (mm) 0.0 -1.6 -2.1 0.0 |
| m 30 20 10 | 水準点標高断面図  |

23-09-01

自 宮崎県児湯郡川南町 至 宮崎県串間市



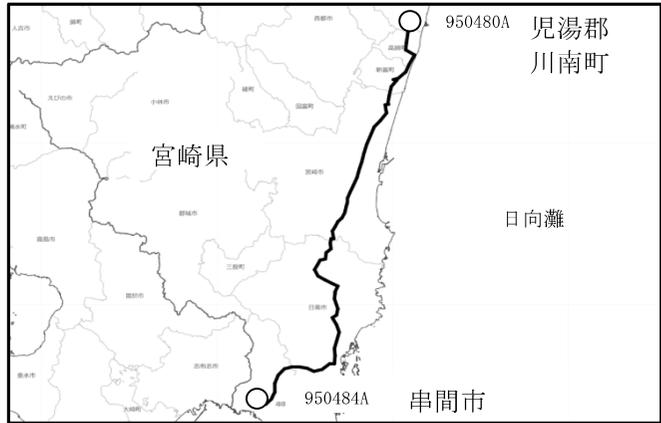
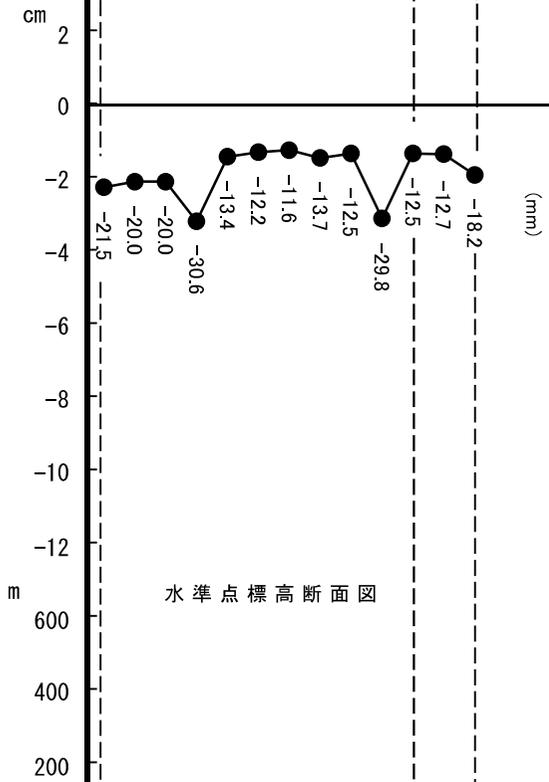
23-09-01 自 宮崎県児湯郡川南町 至 宮崎県串間市

| | |
|-------|---|
| 水準点番号 | 9149 9148 9147 9146 9145 9144 9143 9142 9141 基準2383 9140 9139 950484A |
|-------|---|

| | |
|-----|-----------|
| 所在地 | 日南市 串間市 |
|-----|-----------|

| | |
|-------|------------|
| 新観測年月 | 2023年6月~7月 |
|-------|------------|

| | |
|------------|----------|
| 基準とした旧観測年月 | 2006年8月 |
| | 2022年10月 |



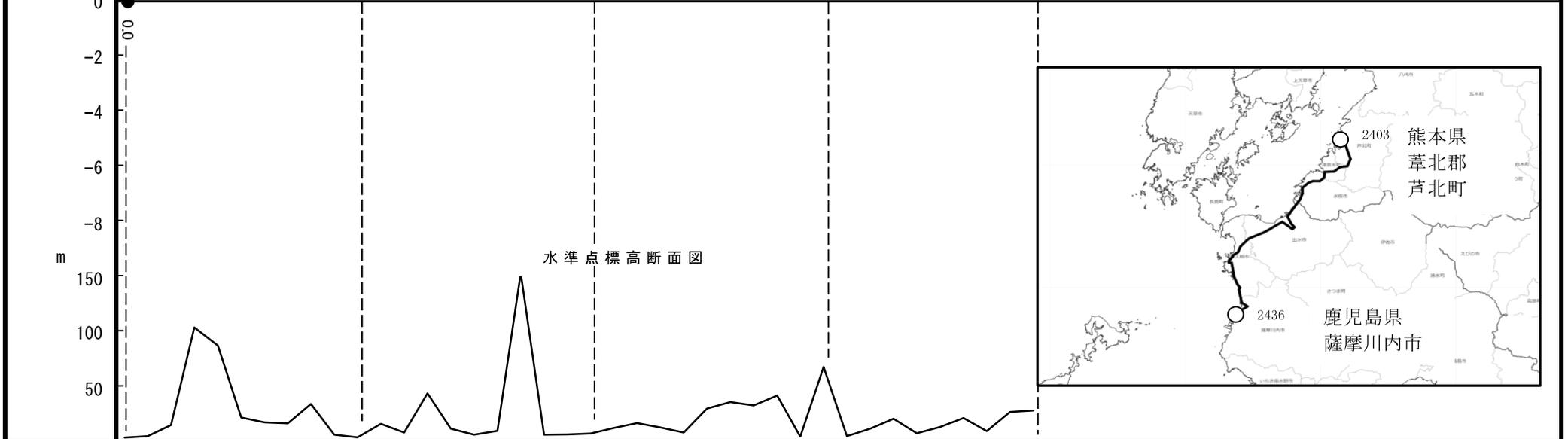
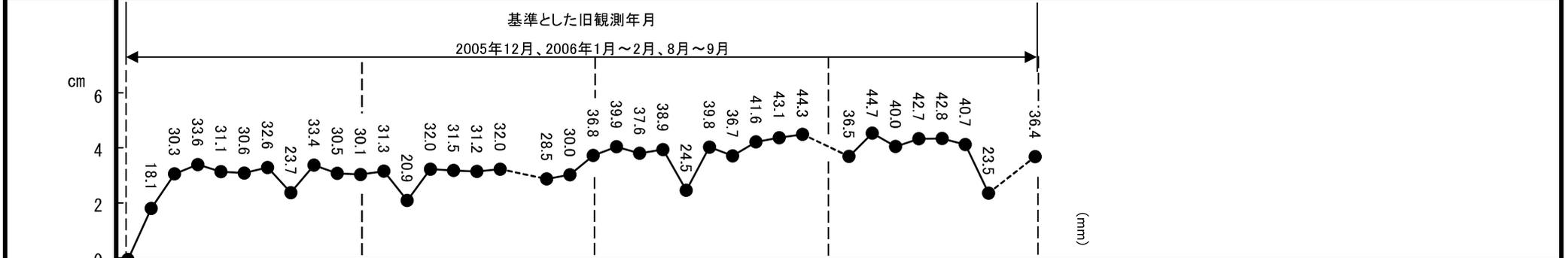
23-09-02

自 熊本県葦北郡芦北町 至 鹿児島県薩摩川内市

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|------|--------|--------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|
| 水準点番号 | 2403 | 2404 | 2405-1 | 2406-1 | 2407-1 | 2408 | 2409 | 2410 | 2411 | 2412 | 2413 | 2414 | 2415 | 2416 | 2417 | 2418 | 2419 | 970834A | 2420 | 2421 | 2422 | 2423 | 2424 | 2425 | 2426 | 2427 | 2428 | 2429 | 2431 | 2432 | 2433 | 2434 | 2435 | 970835A | 2436 |
|-------|------|------|--------|--------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|---------|------|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------------------|--|--|-------------|--|--|-----|--|--|-----|--|--|--------------|--|--|-------|--|--|
| 所在地 | 熊本県 葦北郡 芦北町 | | | 熊本県 津奈木町 | | | 水俣市 | | | 出水市 | | | 鹿児島県 阿久根市 | | | 薩摩川内市 | | |
|-----|-------------------|--|--|-------------|--|--|-----|--|--|-----|--|--|--------------|--|--|-------|--|--|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 新観測年月 | 2023年9月~10月 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|



23-09-03

自 鹿児島県阿久根市 至 鹿児島県阿久根市

| | |
|------------|------------------------|
| 水準点番号 | 附24 阿久根験潮場固定 |
| 所在地 | 鹿児島県 阿久根市 |
| 新観測 年 月 | 2023年10月 |
| 年 月 | 基準とした旧観測年月 2005年12月 |

cm

2

0

-2

-4

-6

-8

-10

-12

m

15

10

5

(mm)

0.1

0.0

水準点標高断面図

鹿児島県

阿久根市

阿久根験潮場固定点

附24